



ITmedia Inc.

平成27年3月期 第2四半期 決算説明資料

2014 年 10 月 29 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成26年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。



ITmedia Inc.

2014年度 第2四半期 業績概要

2014 年 10 月 29 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

2014年度 第2四半期累計 業績ハイライト

全社業績

☑ 売上好調で増収増益

- ☑ 上期売上 過去5年間で最大
- ☑ 売上成長率 過去5年で最高水準
- ☑ 主要3分野全て前年比増収

☑ 主な要因

売上面

- 産業テクノロジー分野は前年比25.9%増収
 - IT&ビジネス分野は10.6%増収
 - コンシューマー分野は2.1%増収
- 中期の会社方針に沿って商品構成が変化
 - ターゲティング型商品売上が前年比+15.5%
 - タイアップ型商品売上は前年比+7.1%
 - ディスプレイ型は前年同水準

	実績	前年比
売上高	1,435百万円	+8.2%
営業利益	150百万円	+75.4%
経常利益	153百万円	+74.9%
四半期純利益	80百万円	+46.2%

コスト面ほか

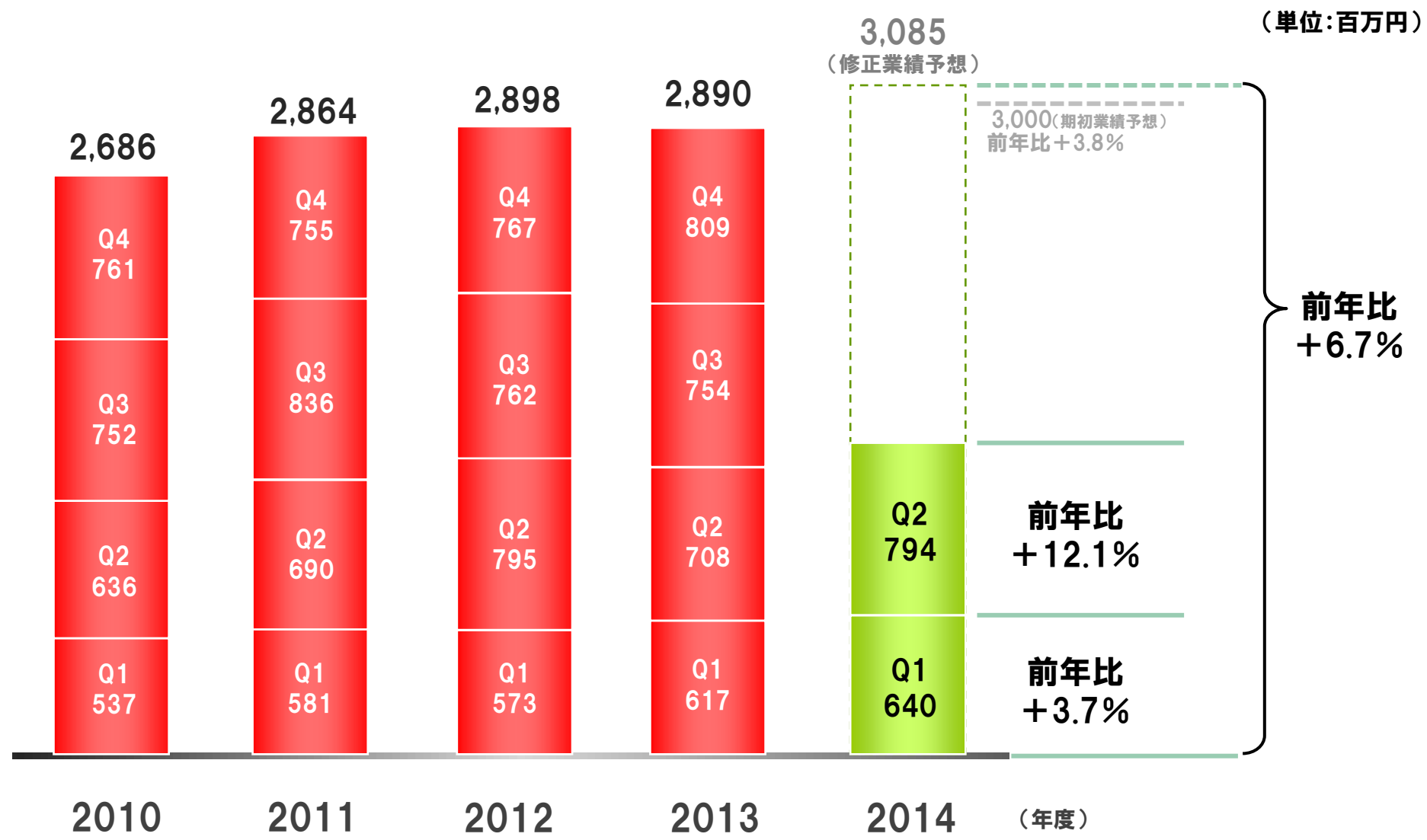
- 総コストは前年から3.5%増、
売上原価の増加は売上成長率と同程度
- 「ONETOPI」サービス終了の決定等に伴い、
特別損失29百万円を計上

2014年度 第2四半期累計 業績

(単位:百万円)

	前期(4～9月)		当期(4～9月)		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	1,326	100.0%	1,435	100.0%	+ 8.2%
売上原価	534	40.3%	578	40.3%	+ 8.2%
売上総利益	791	59.7%	856	59.7%	+ 8.3%
販売管理費	705	53.2%	706	49.2%	+ 0.1%
営業利益	85	6.5%	150	10.5%	+ 75.4%
経常利益	87	6.6%	153	10.7%	+ 74.9%
四半期純利益	55	4.2%	80	5.6%	+ 46.2%
包括利益	52	4.0%	114	8.0%	+ 115.6%

売上高の推移

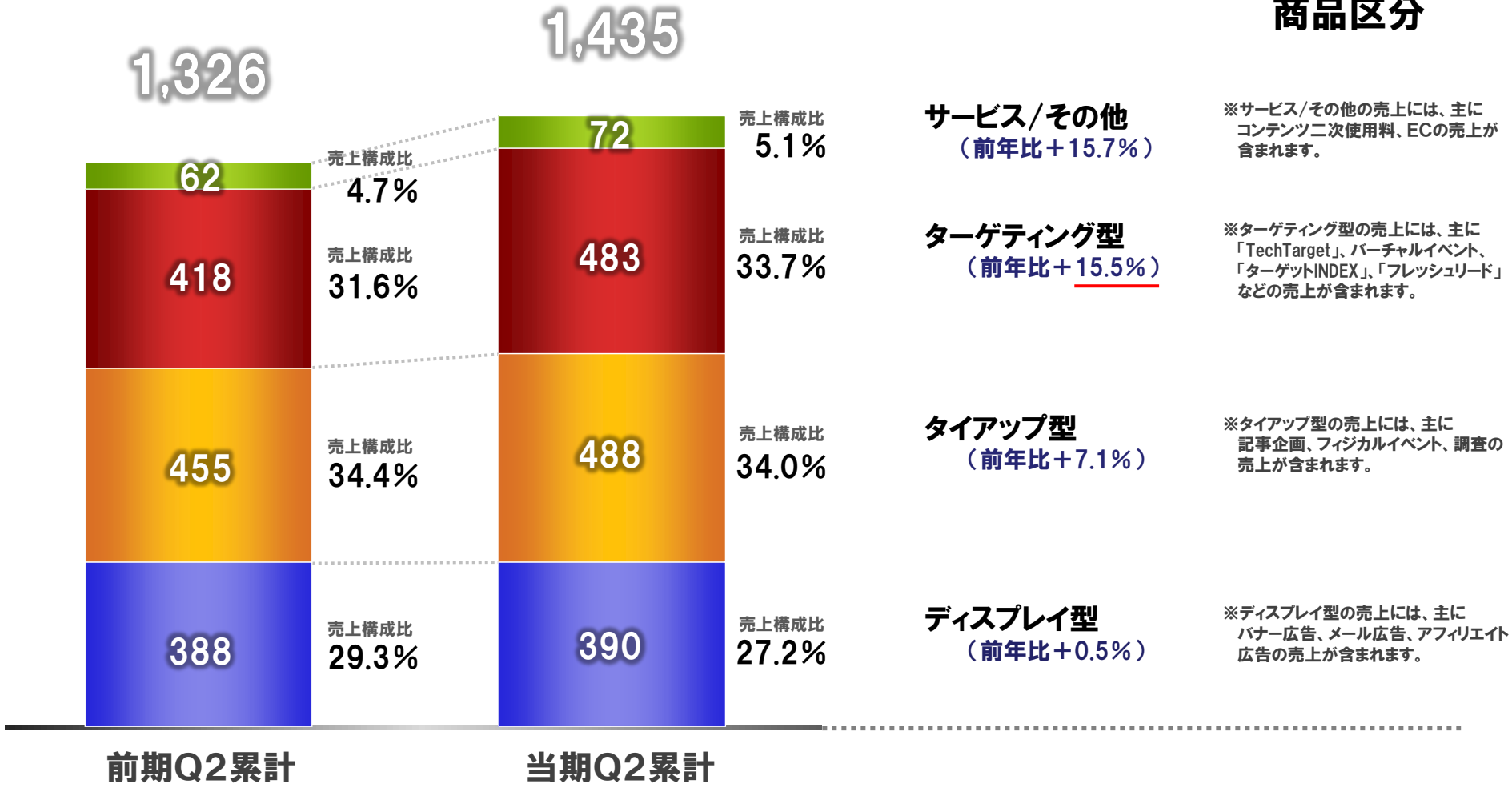


商品タイプ別 売上構成比率(前年比)

- サービス/その他売上
- ターゲティング型売上
- タイアップ型売上
- ディスプレイ型売上

(単位:百万円)

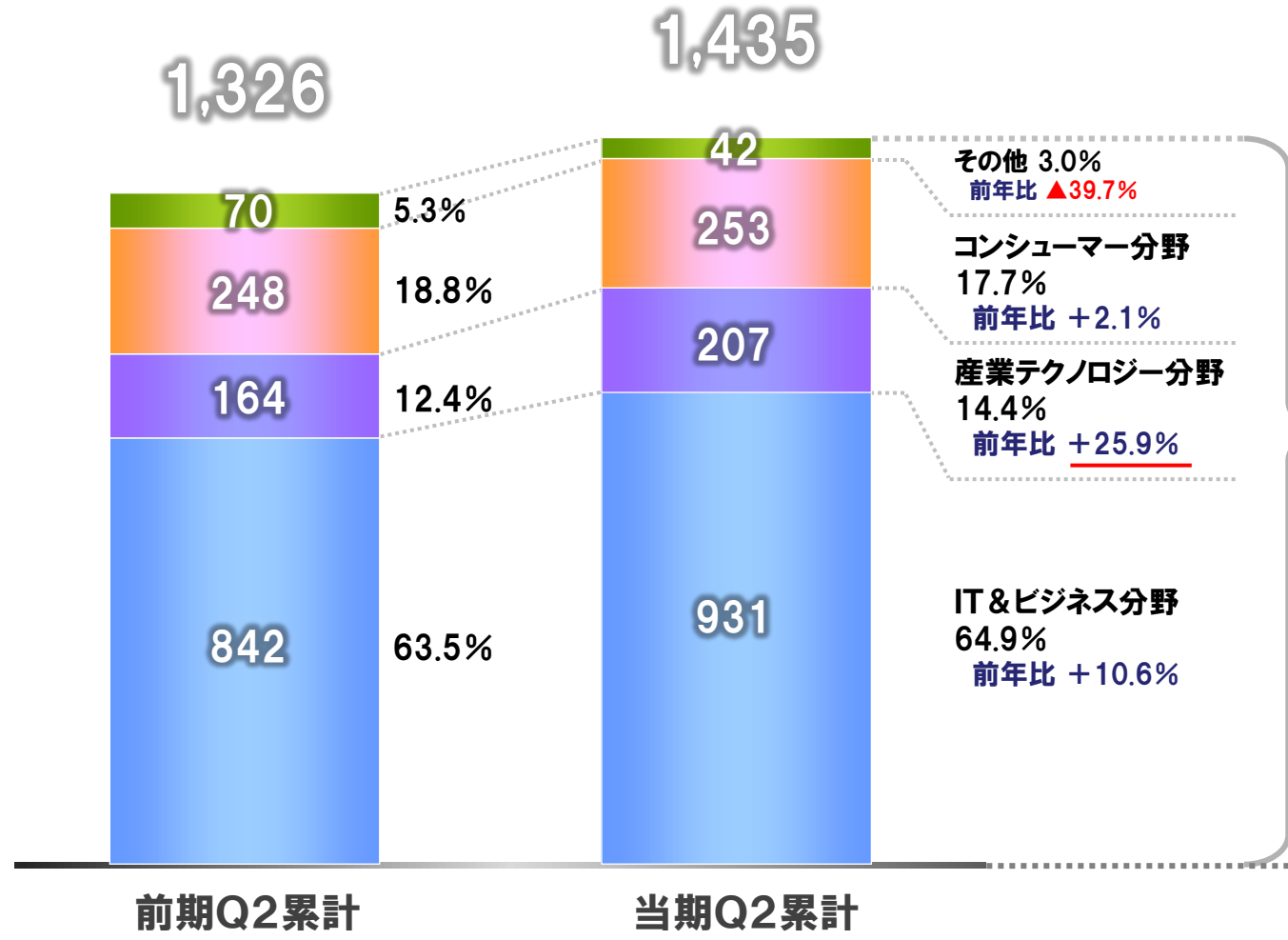
商品区分



分野別・売上構成比率(前年比)

(単位:百万円)

- その他
- コンシューマー分野
- 産業テクノロジー分野
- IT&ビジネス分野



商品タイプ別 売上構成比率(前年比)

(単位:百万円)

商品区分	前年Q2累計	前年Q2累計比率	当期Q2累計	当期Q2累計比率	前年比
サービス/その他	62	4.7%	72	5.1%	(前年比 +15.7%)
ターゲット型型	418	31.6%	483	33.7%	(前年比 +15.5%)
タイアップ型	455	34.4%	488	34.0%	(前年比 +7.1%)
ディスプレイ型	388	29.3%	390	27.2%	(前年比 +0.5%)
前年Q2累計	1,326		1,435		

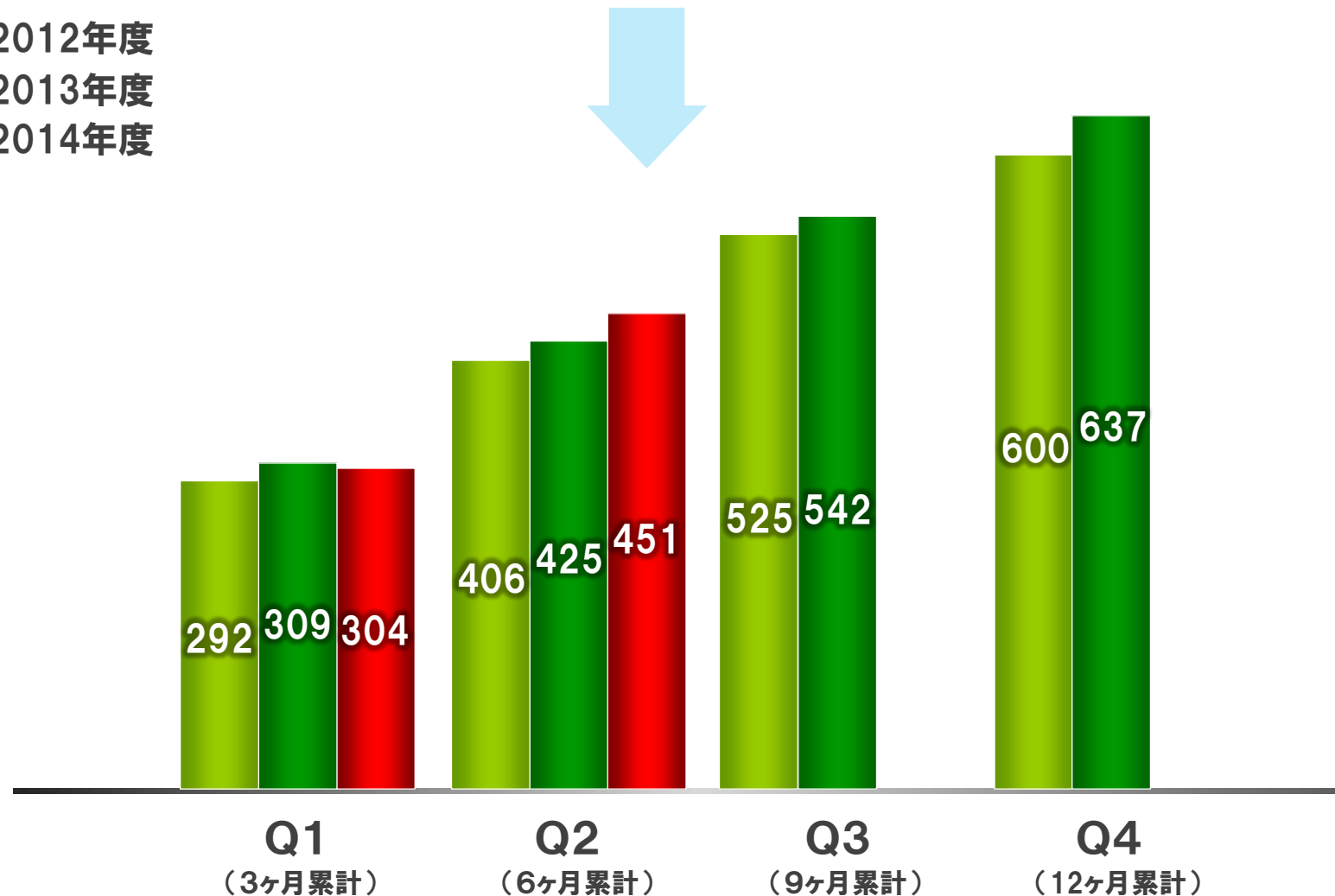
※サービス/その他は、主にコンテンツ配信、広告、その他。ターゲット型型は、主に「ターゲット型型」向け。タイアップ型は、主に「タイアップ型」向け。ディスプレイ型は、主に「ディスプレイ型」向け。

メディア事業
前年比 +8.2%

広告主数の推移

前年比 +6.1% (26社増)

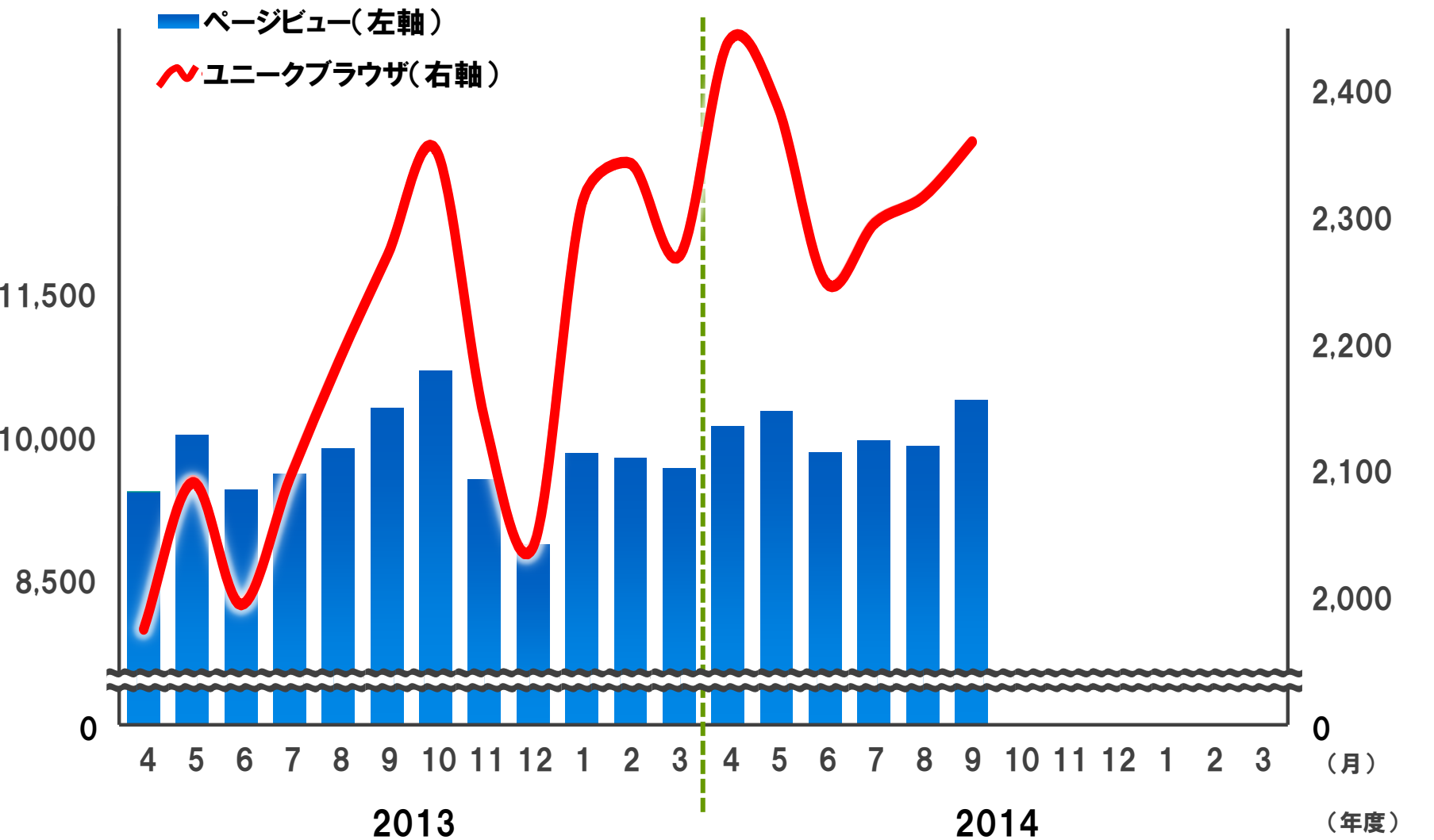
■ 2012年度
■ 2013年度
■ 2014年度



運営するメディアの規模

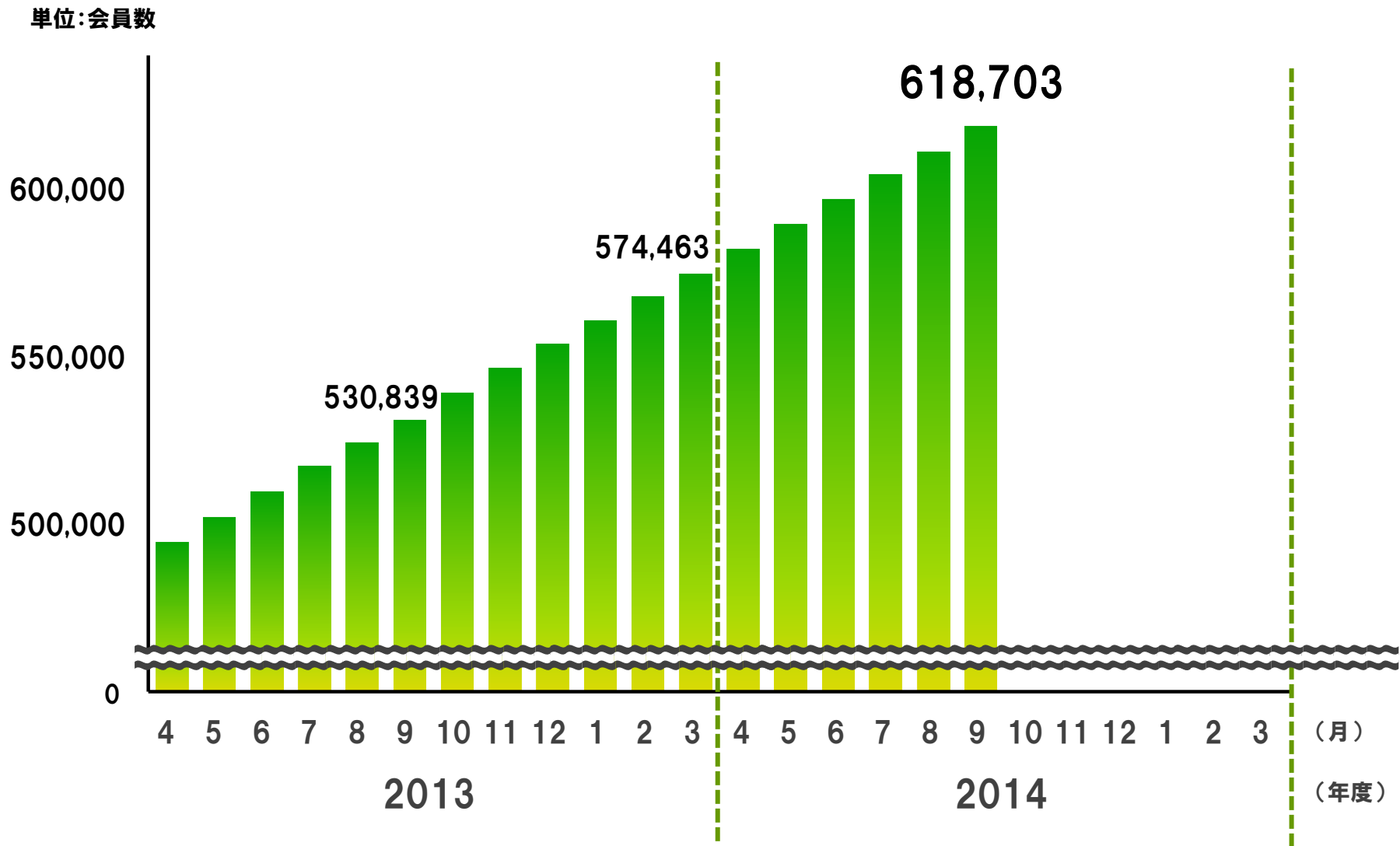
単位:万PV

単位:万UB



※当社が提供しているスマートデバイス向けメディアアプリの広告枠インプレッション数を総ページビュー数に加算しています。
※2012年9月より、ユニークブラウザ数の測定をより正確に行うため、計測方法の変更を行っています。
※2014年8月にサービスを終了しました「ONETOPi」のページビューおよびユニークブラウザ数を除いています。

アイティメディアID延べ会員数推移

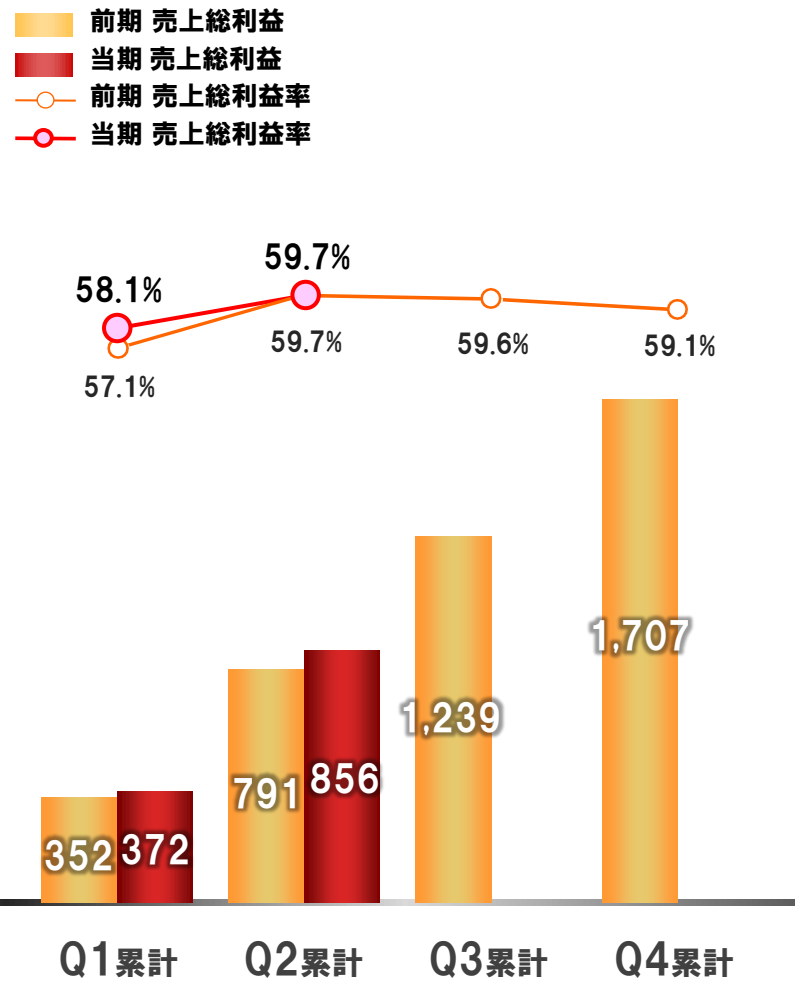


アイティメディアIDとは、当社が提供する会員登録制の各種サービスやコンテンツを利用するための当社の共通IDサービスです。
「PDF出力対応プリント」や「記事アラート」、各種メールマガジンなど、さまざまなサービスが1つのアカウントで利用できます。

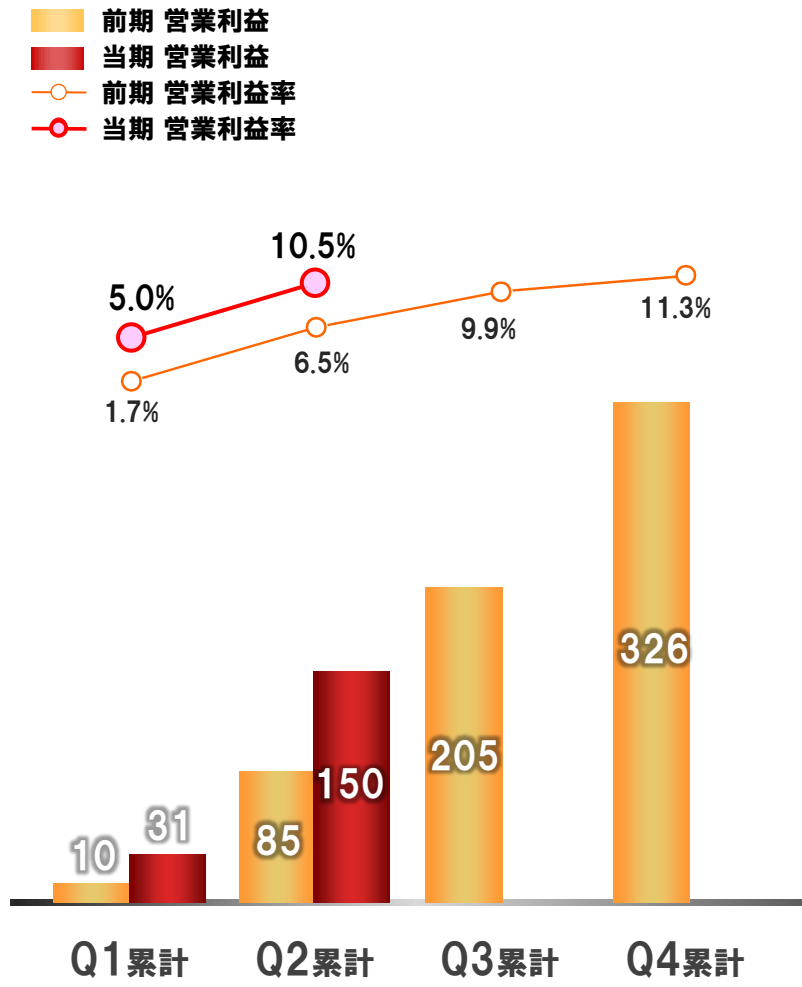
売上総利益・営業利益の推移(累計)

(単位:百万円)

売上総利益・売上総利益率の推移



営業利益・営業利益率の推移

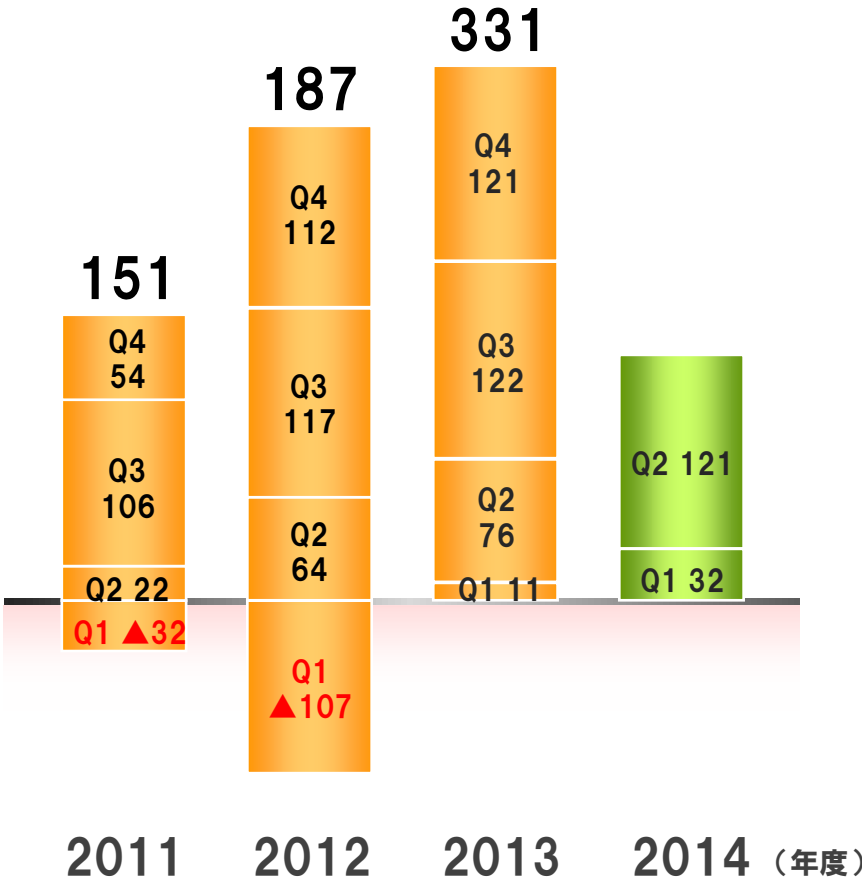
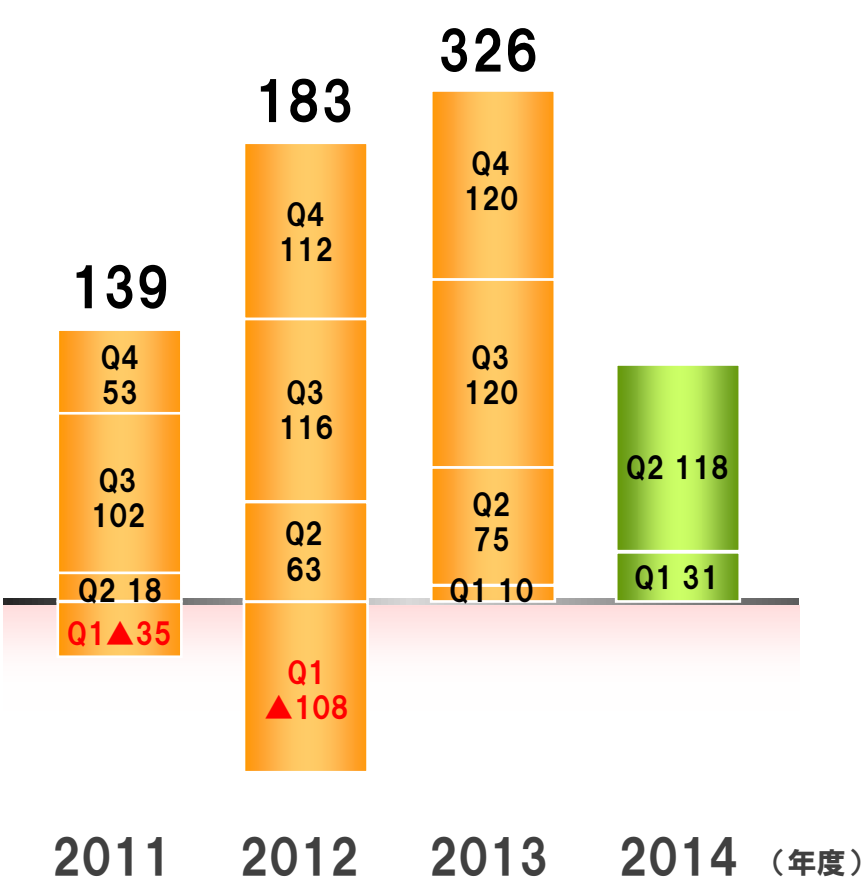


営業利益・経常利益の推移(累計)

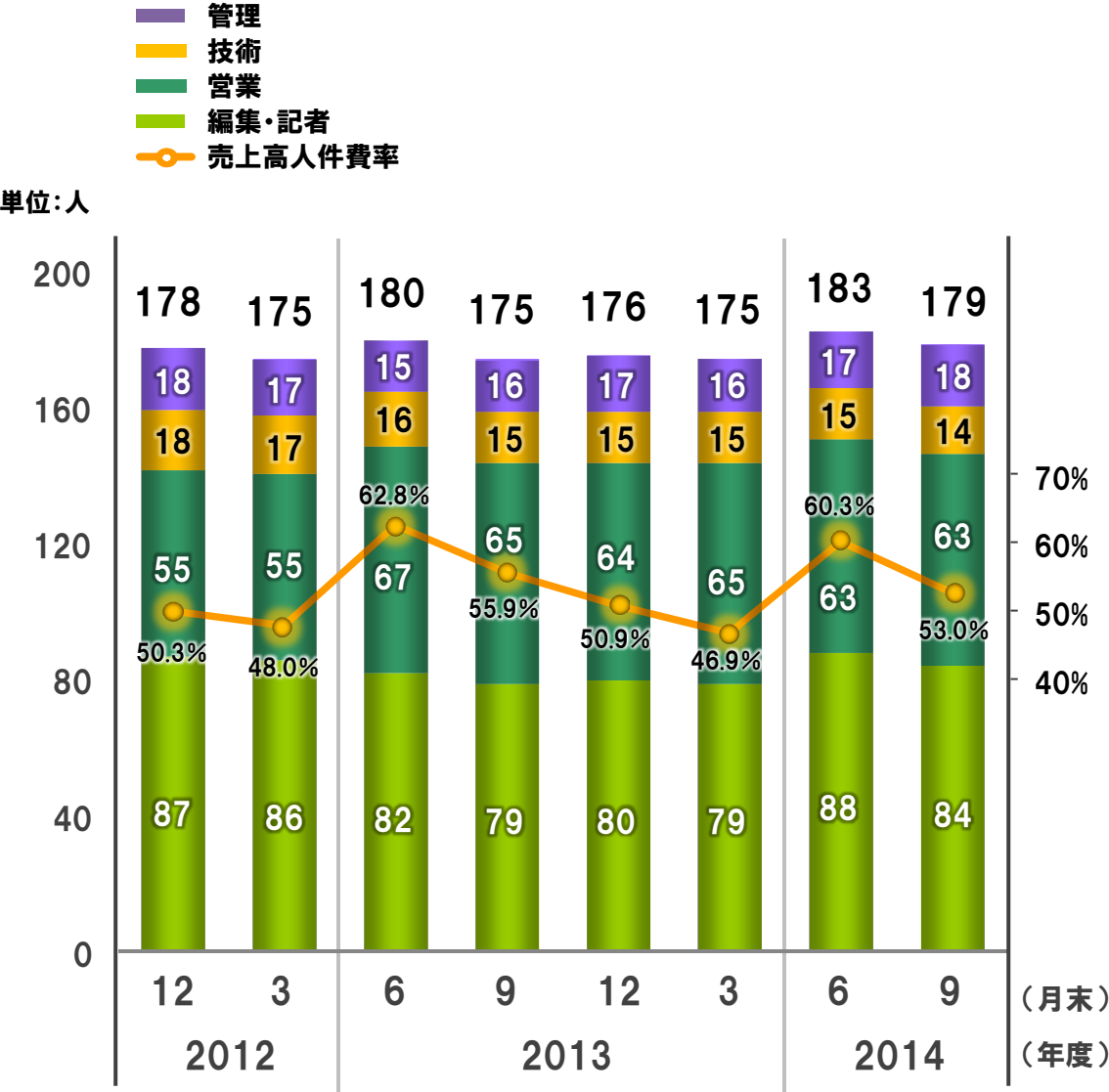
(単位:百万円)

営業利益 150百万円
前年比 +65百万円

経常利益 153百万円
前年比 +65百万円

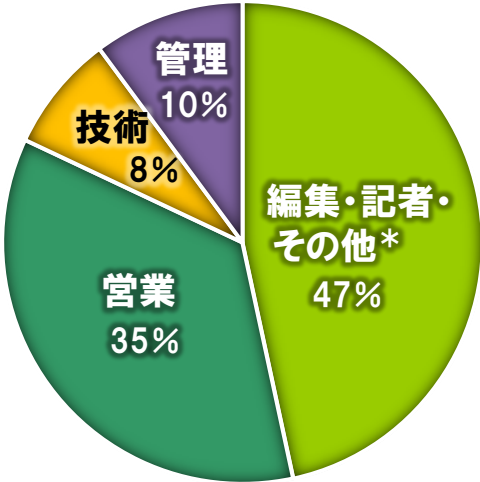


従業員数の推移



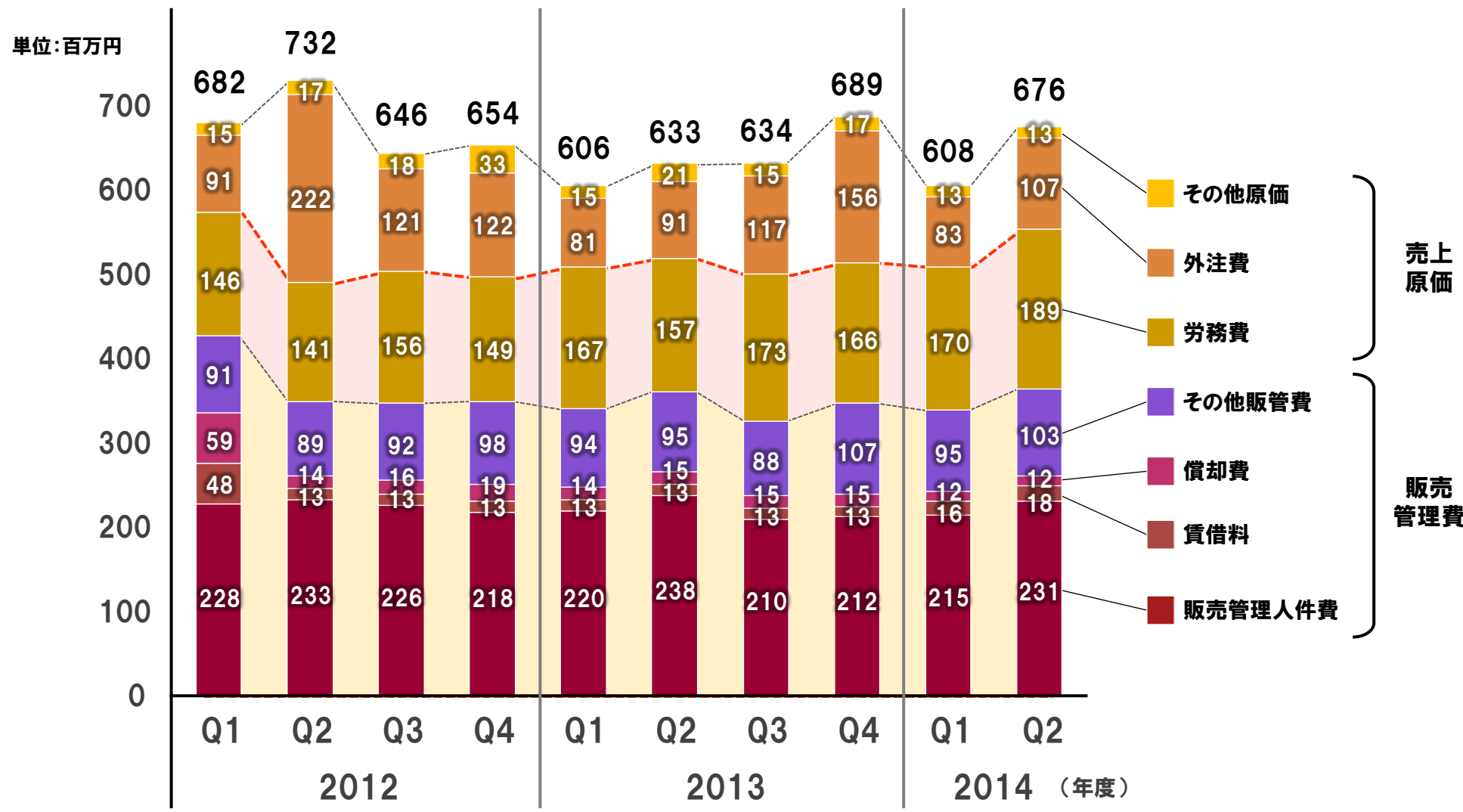
	人数	構成比	前年比 増減率
編集・記者・その他*	84	47%	+6.3%
営業	63	35%	▲3.1%
技術	14	8%	▲6.7%
管理	18	10%	+12.5%
合計	179	100%	+2.3%

*デザイン、マーケティング要員を含みます。



注: 売上高人件費率= $\frac{【販管費】人件費 + 【原価】労務費}{売上高} \times 100$

売上原価、販管費の推移(四半期推移)



連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)	増減額 (単位:百万円)
流動資産合計	3,379	3,564	+185
現金及び預金	1,867	2,361	+494
受取手形及び売掛金	557	472	△85
有価証券	800	600	△200
その他	153	130	△23
固定資産合計	887	865	△22
有形固定資産	100	89	△10
無形固定資産	142	98	△43
投資その他の資産	644	677	+32
資産合計	4,266	4,429	+163
流動負債合計	319	357	+38
支払手形及び買掛金	48	48	△0
未払法人税等	37	28	△8
賞与引当金	111	142	+31
その他	121	137	+15
固定負債合計	29	28	△1
負債合計	349	386	+36
株主資本合計	3,950	4,064	+113
資本金	1,638	1,667	+29
資本剰余金	1,682	1,711	+29
利益剰余金	673	729	+55
自己株式	△44	△44	△0
その他包括利益累計額	△57	△24	+33
新株予約権	25	4	△20
純資産合計	3,917	4,043	+126
負債純資産合計	4,266	4,429	+163

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	130	287
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲129	195
財務活動によるキャッシュ・フロー	5	10
現金及び現金同等物の増減額	6	494
現金及び現金同等物の期首残高	1,817	1,967
現金及び現金同等物の期末残高	1,824	2,461

2014年度 第2四半期累計(4~9月) 事業動向ハイライト

(単位:百万円)

事業動向	メディア分野	売上(前年比)	営業利益(前年比)
	売上、利益動向		
	IT & ビジネス分野	931(+10.6%)	170(+34)
	ターゲティング型商品の販売好調により増収		
	産業テクノロジー分野	207(+25.9%)	19(+4)
	顧客数、顧客単価ともに上昇。リソース投入によるコスト増も増益を継続		
	コンシューマー分野	253(+2.1%)	1(▲13)
	デジタルガジェット関連の広告需要が復調。「ねとらぼ」のメディア力強化のためコスト増加		
	その他分野 (スマートメディアなど投資分野)	42(▲39.7%)	▲40(+38)
	一部の新規事業についてはコストを抑制し、バーチャルイベント事業が成長した結果、損失が改善		



ITmedia Inc.

2014年度 業績予想ならびに中期戦略

2014 年 10 月 29 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

中期戦略：3つのイノベーションベクトルによる成長戦略



メディア・ビッグデータによる革新

革新性の追求：リードジェネレーション

- ターゲティング型商品、特に「TechTarget」の高付加価値化
- メンバーシップ基盤強化、キャンペーンマネジメント機能の強化



メディアドメインの拡大

収益力強化：事業領域の拡大

- 「産業テクノロジー」分野の黒字化
- 成功モデルを新たなメディア領域および隣接事業領域に拡張



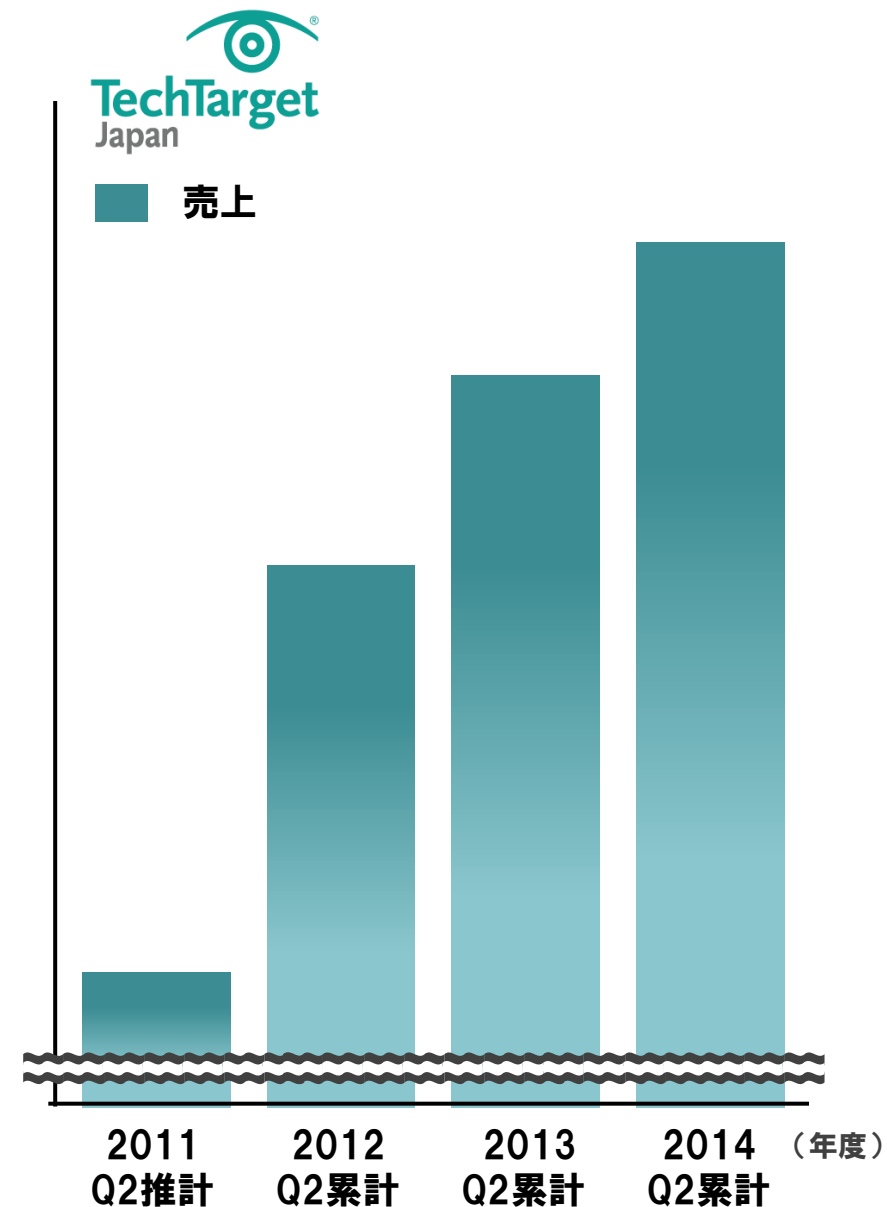
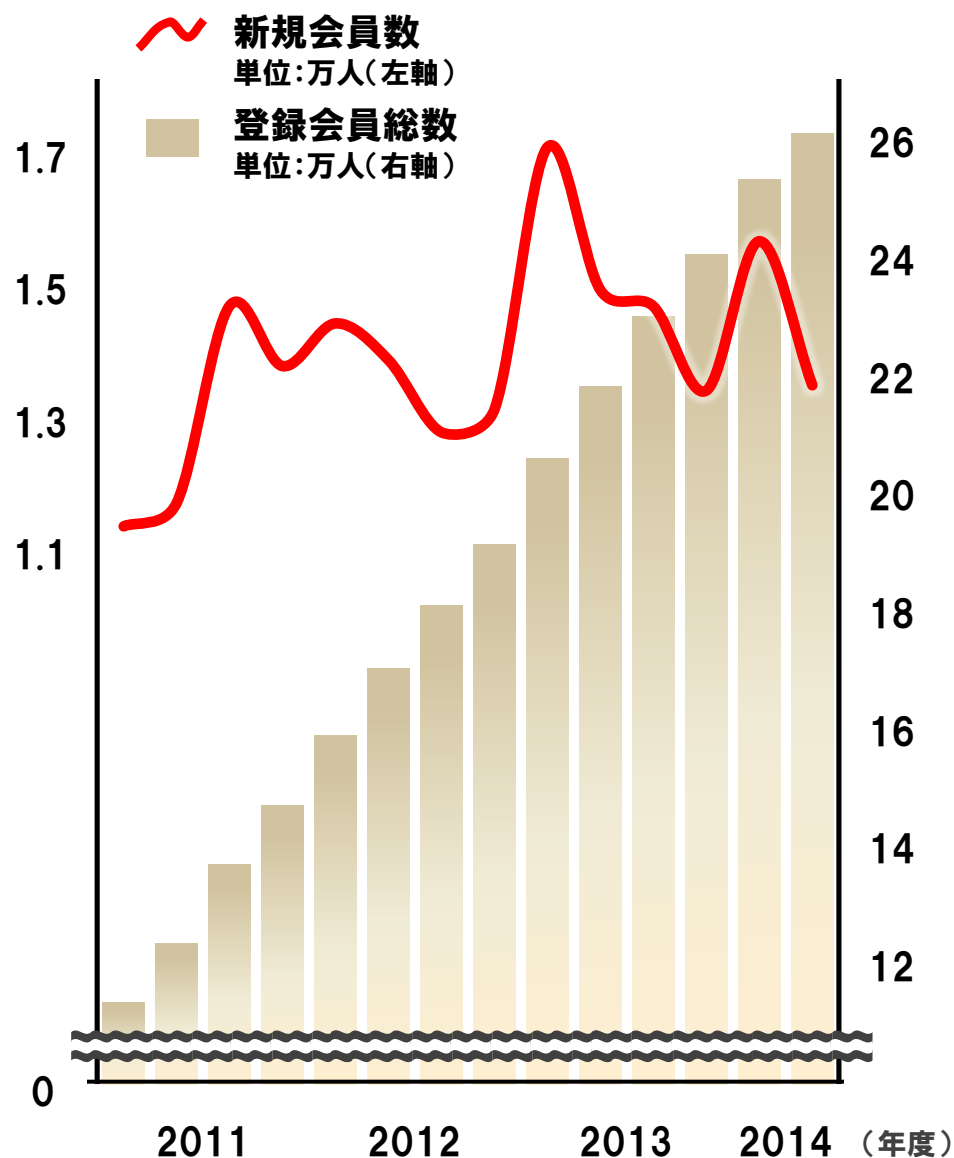
スマートメディア ビジョンの推進

変化への対応：スマートメディア開発

- 情報伝達経路のスマートデバイス化が加速
- 社会のパラダイム変化に適応したメディアモデルを研究開発



①TechTargetジャパン 会員登録数と売上の増加

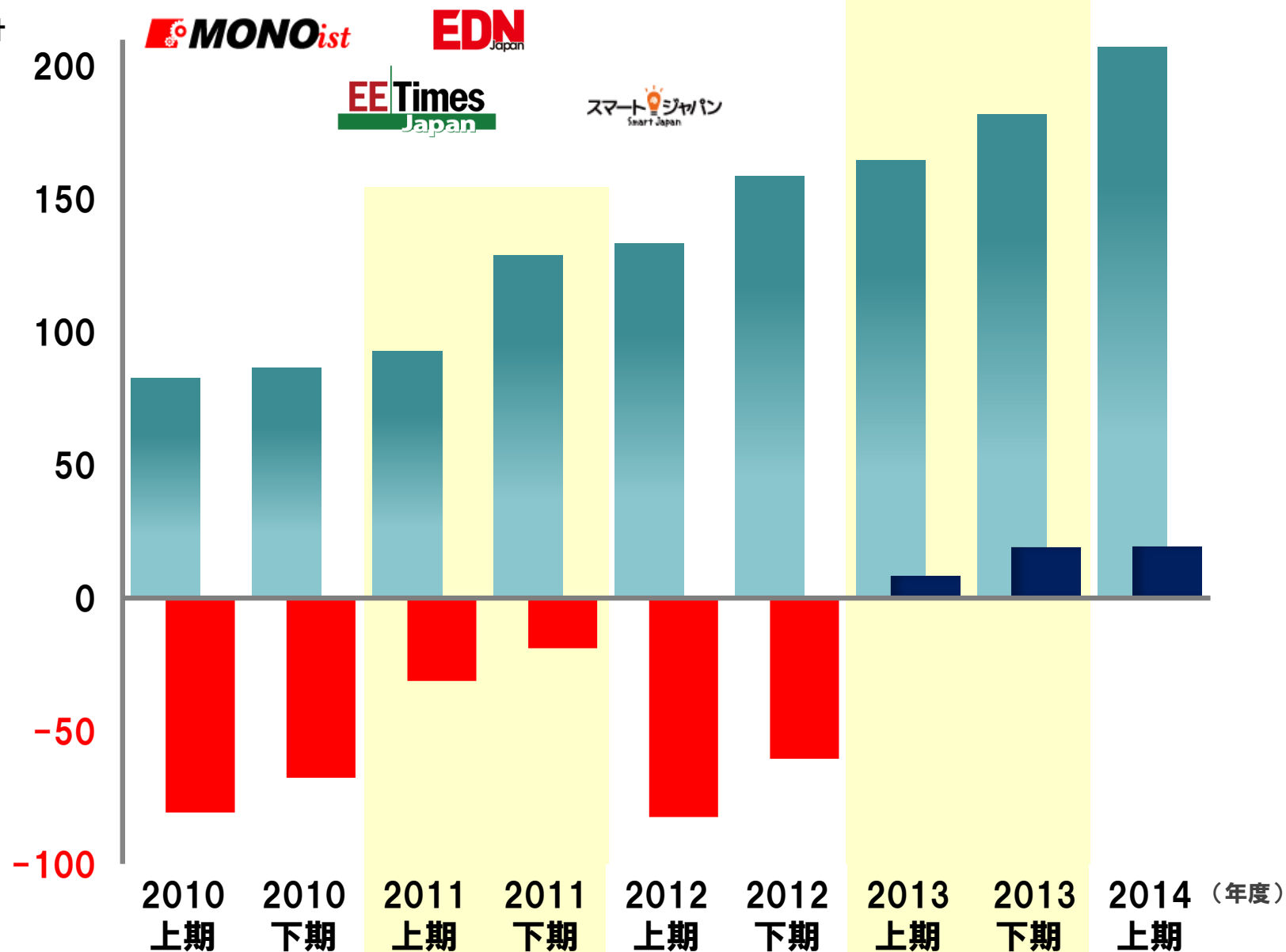




②産業テクノロジー分野の黒字化ならびに売上成長

単位:百万円

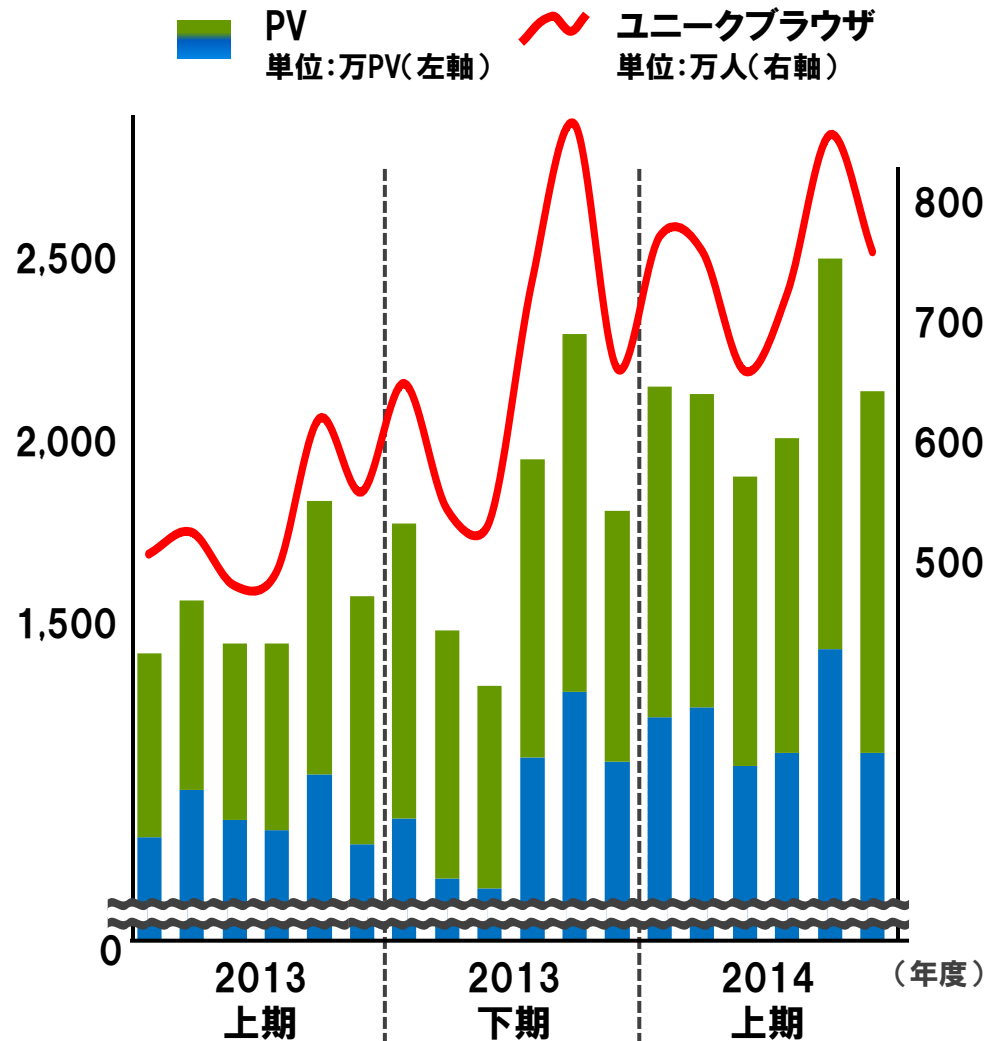
売上高合計
営業利益
営業損失



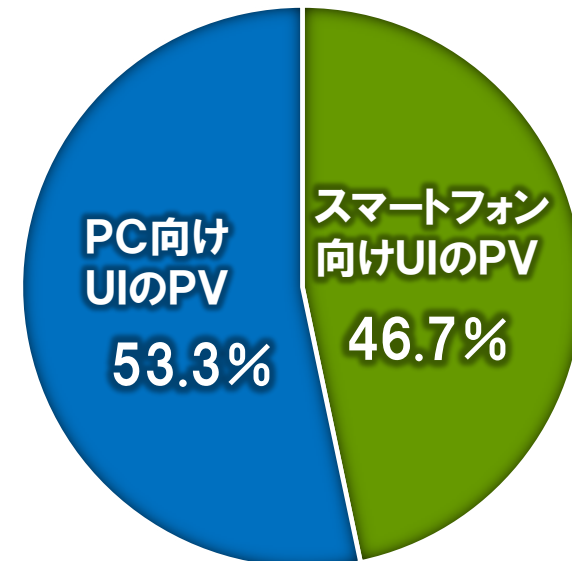


③ねとらぼ PV成長とスマート比率

PVは前年水準の約1.4倍で推移



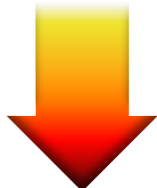
PVの約半分はスマートフォンから



※比率は2014年9月の状況

④ねとらぼ メディア的特徴

- 1. ネット上の旬な情報を国内外からジャンルを問わず幅広く紹介
- 2. PV追求型ビジネスモデル
(高単価な専門メディアモデルではなく、ADTechモデル)
- 3. ネットで情報発信を積極的に行う読者



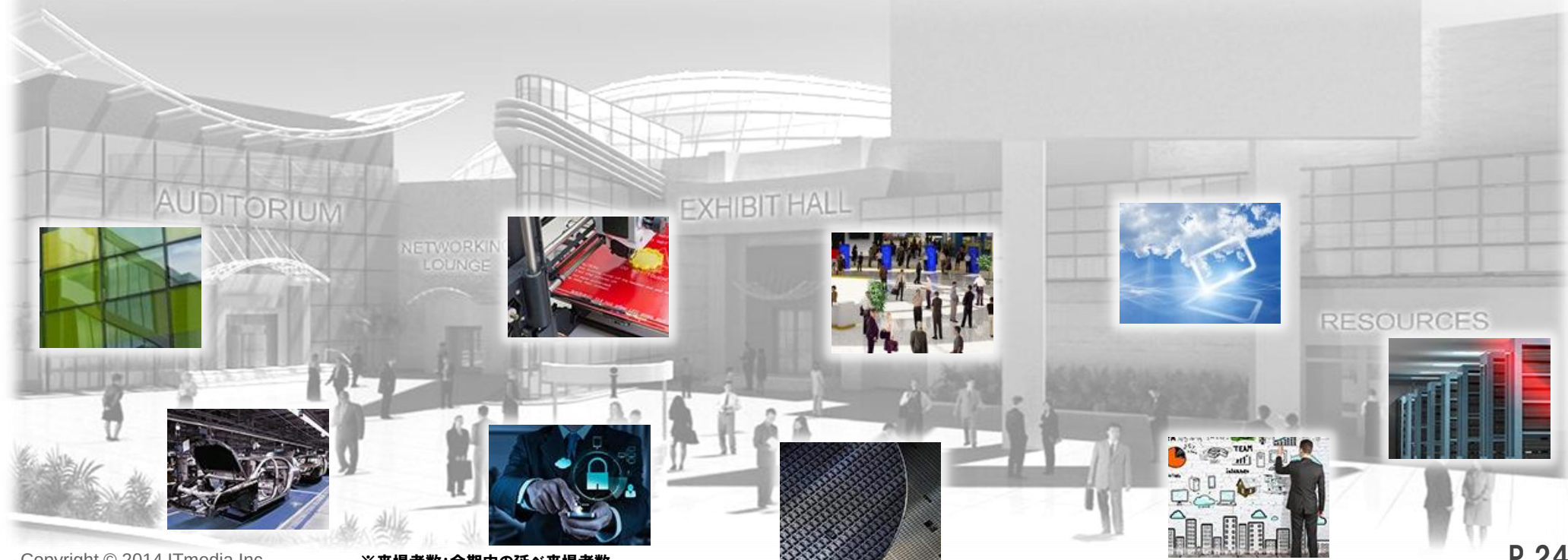
【その結果】

右の記事は、2014年10月時点でツイート
タップ625回、いいねタップ2012回、
1記事累計PVは約100万PV(約3ヵ月経過時点)

そして、「ねとらぼ」の記事掲載本数は、
月600本から増加対応中

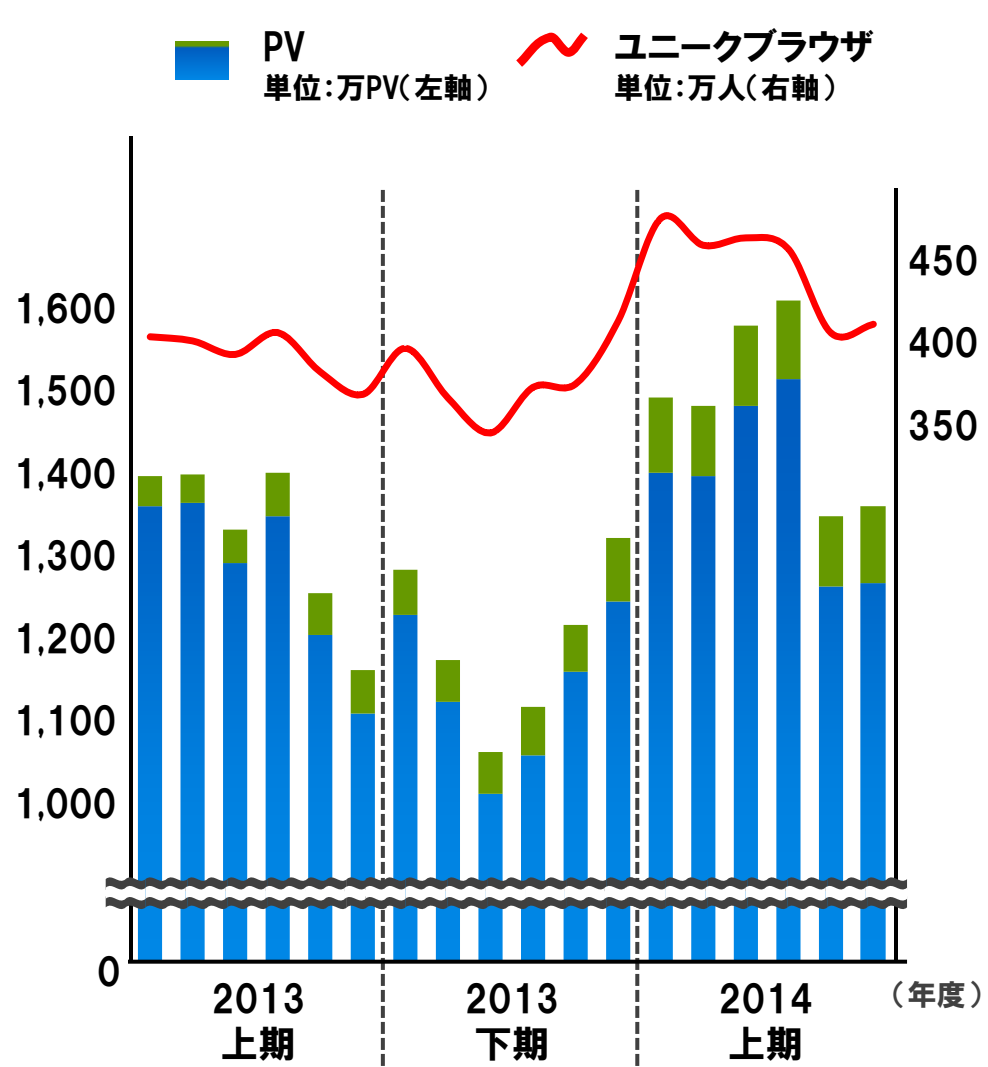
企業の動画マーケティング需要が拡大し Webセミナーの受注件数が大きく増加

好評の「ITmedia Virtual EXPO」(9月)は 参画企業数、来場者数※ともに過去最多

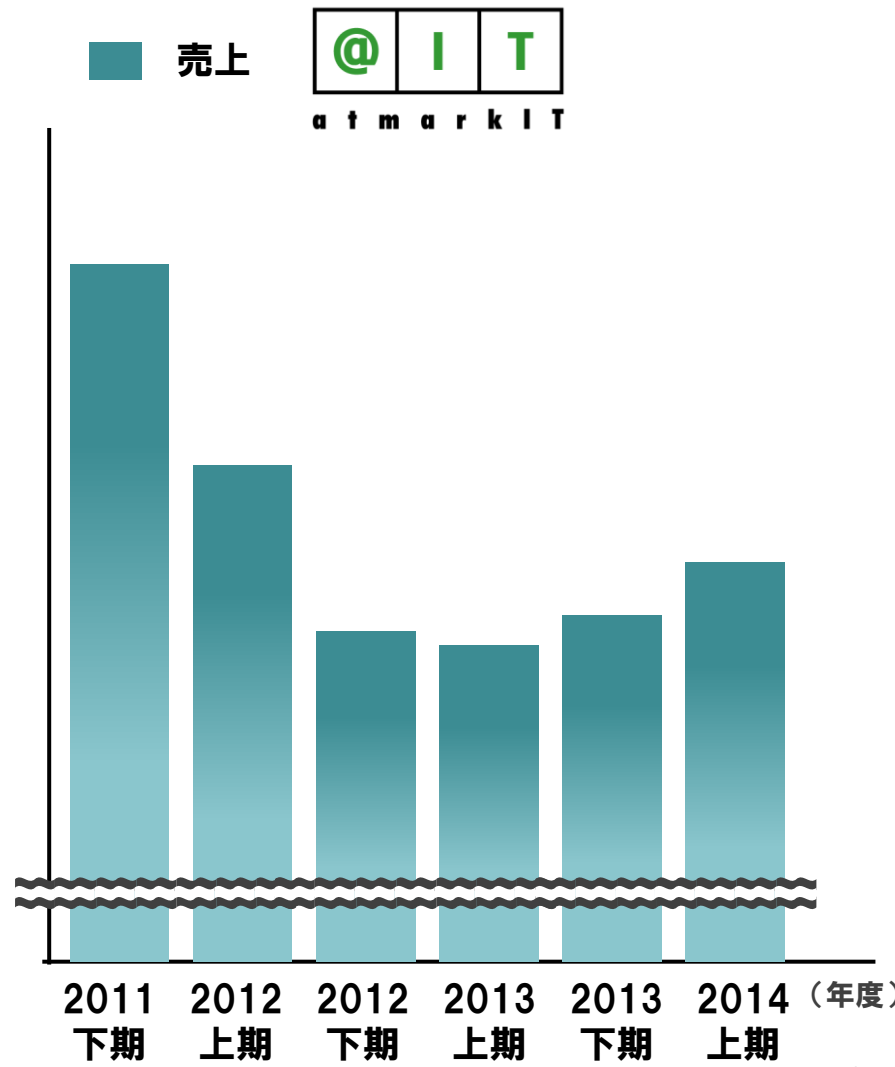


⑥復活の兆候を示す既存メディアの1つ @IT

PVの前年同月比が6ヵ月連続増加



前年下期より売上上昇に反転



2014年度 業績予想

(単位:百万円)

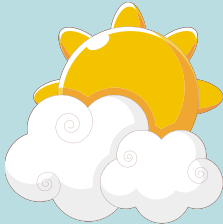
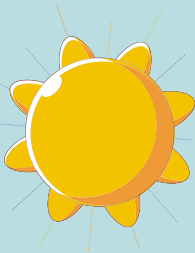
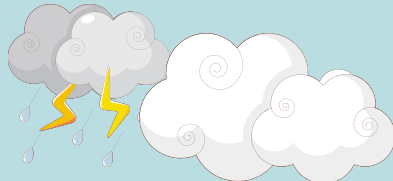
通期	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想	3,085	440	446	260
2013年度実績	2,890	326	331	202
前年との差異	+195 (+6.7%)	+115 (+34.9%)	+115 (+34.7%)	+58 (+28.6%)

期初に公表した通期業績予想を上方修正(10月17日)
営業利益予想は、3億80百万円⇒ 4億40百万円へ

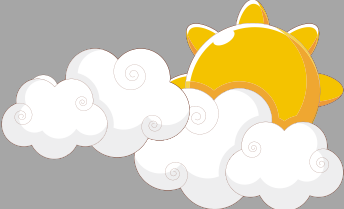
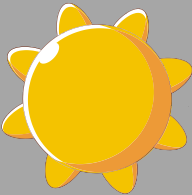
※：上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

主要3分野の当期の動向

上期実績

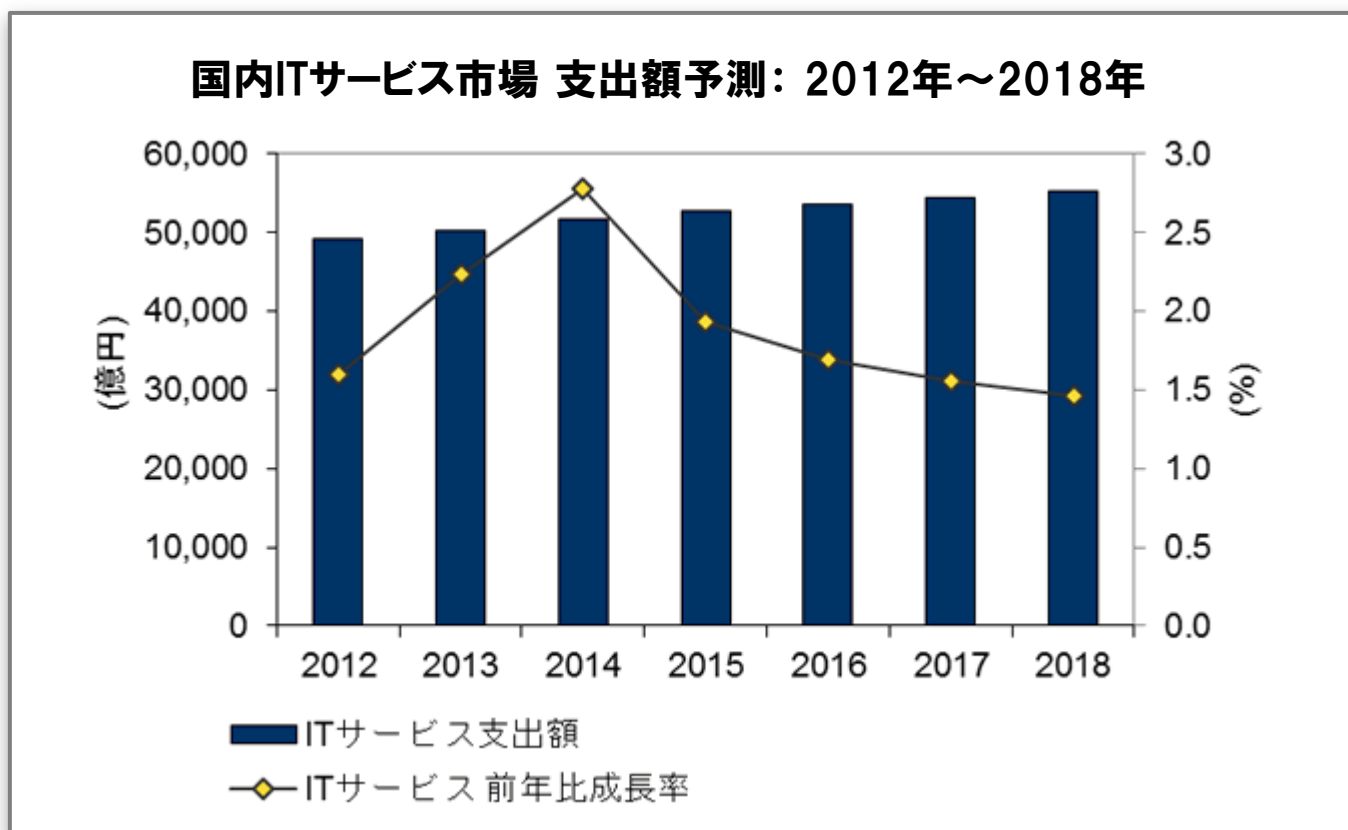
IT & ビジネス分野	産業テクノロジー分野	コンシューマー分野
		

下期予想

IT & ビジネス分野	産業テクノロジー分野	コンシューマー分野
・堅調に推移する事業環境(IT投資)を背景とした広告需要の増加 ・顧客の費用対効果重視の傾向を捉えた、リードジェネレーション商品の拡販	・エレクトロニクス、機械、エネルギーなど、産業における幅広い分野で、マーケティングのデジタル化が進行 ・メディア力の継続的な拡大	・期初に消費増税とXP終了直後による広告需要への影響がみられたものの、第2四半期には回復 ・新モデル「ねとらぼ」は順調にPV拡大
		

ITサービス市場は2012年以降で最高の成長率に

- ・ 2014年は前年比2.8%増の5兆1,720億円の見通し
- ・ 成長率予想は同市場が2012年にプラス成長を回復して以来最高値



ITmedia エンタープライズ 2014/10/21掲載

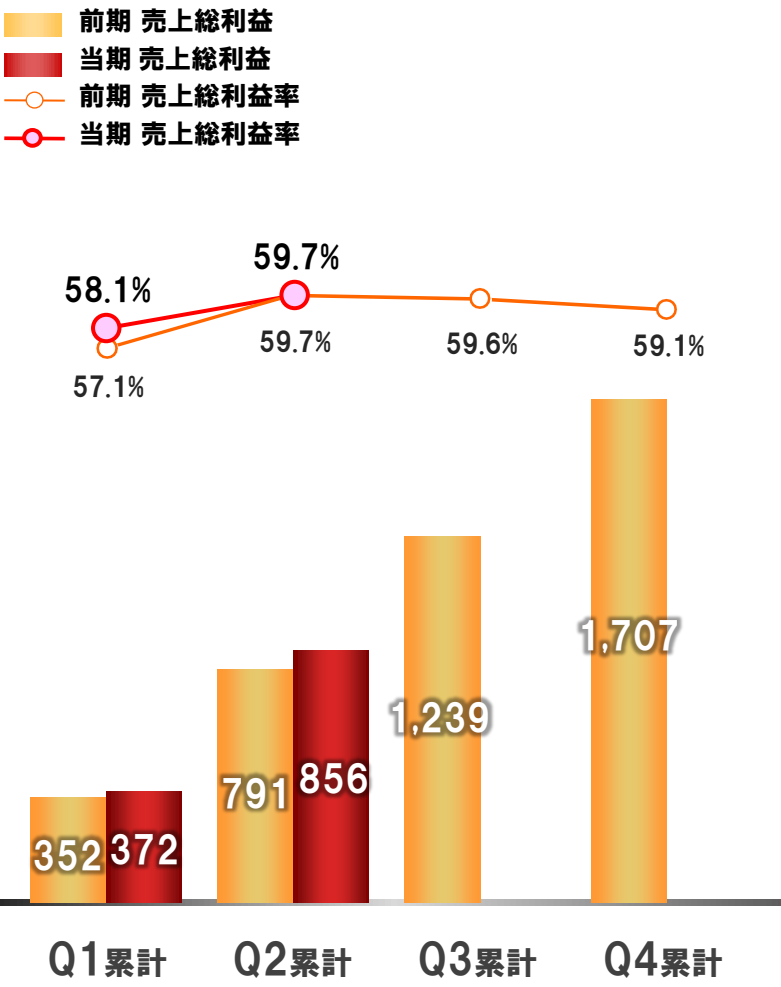
<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1410/21/news113.html>

出典：IDC Japanプレスリリース「国内ITサービス市場予測を発表」(2014年10月21日)

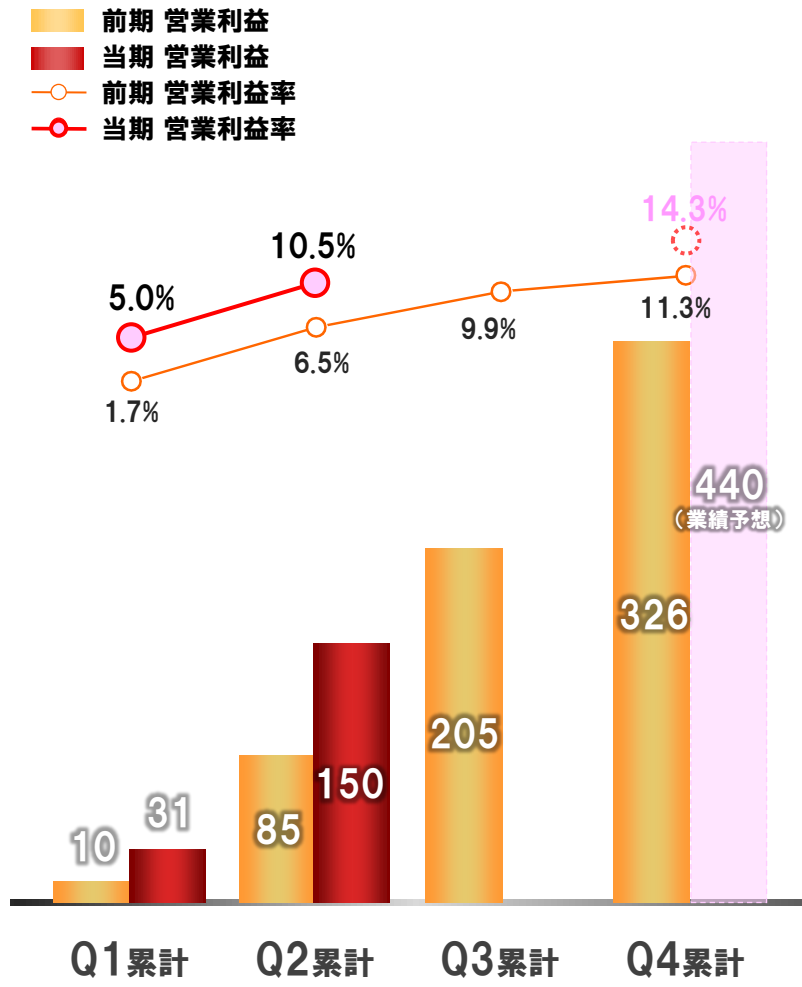
売上総利益・営業利益の推移(累計)

(単位:百万円)

売上総利益・売上総利益率の推移



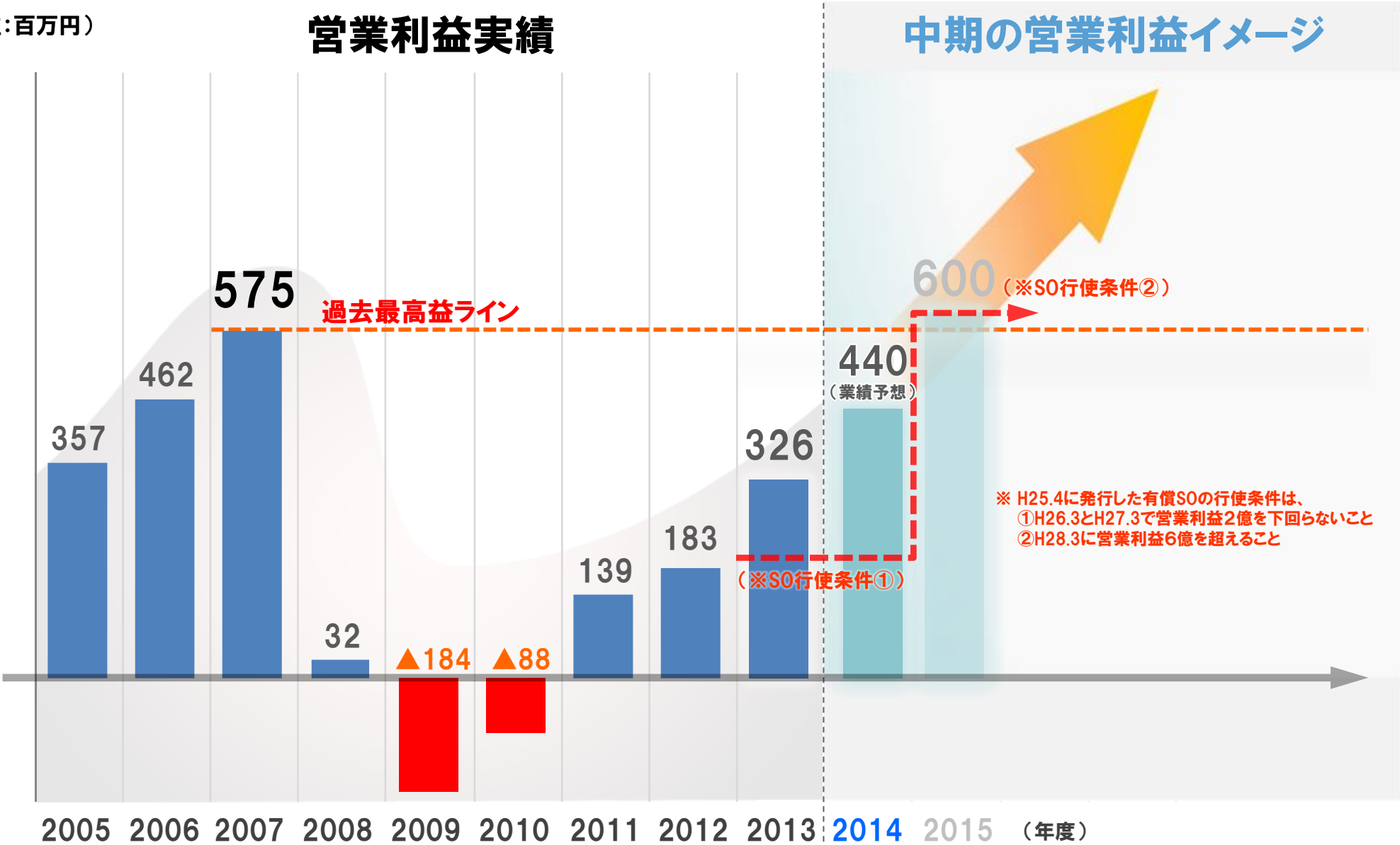
営業利益・営業利益率の推移



中期の営業利益イメージ

(単位:百万円)

営業利益実績



当期の増益予想を踏まえ増配

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期予想 (2014年度)	5円00銭 (決定)	5円00銭 (予想)	10円00銭 (予想)
前期 (2013年度)	4円00銭	4円00銭	8円00銭

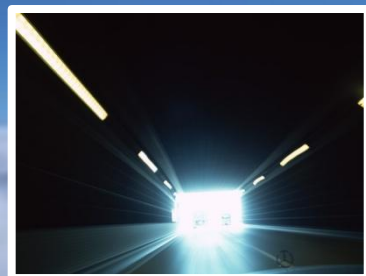
15TH ANNIVERSARY READY

2009年度の赤字化から5年。

2011年度に黒字復活を果たし、これまでに継続成長の基盤を整備、
来期は会社設立以来の最高益更新を目指している今。

当社は今年12月に設立15周年を迎えます。次の15年に向け

まだ見ぬ雲の上、そして、その先へ





ITmedia Inc.

ご参考資料：平成27年3月期 第2四半期 (7～9月)業績データ

2014 年 10 月 29 日

アイティメディア株式会社

証券コード:2148 東証マザーズ

2014年度 第2四半期(7～9月)業績

(単位:百万円)

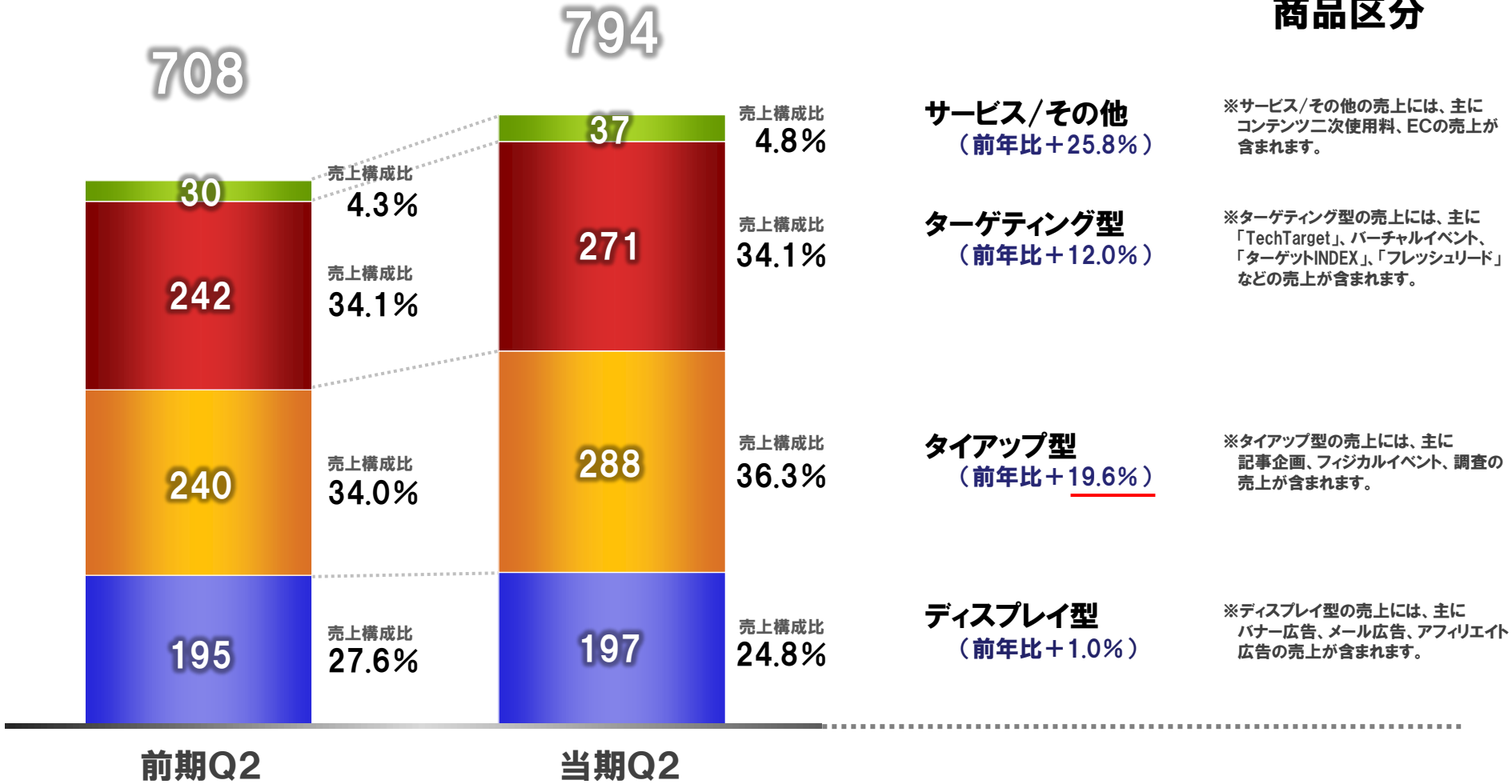
	前期(7～9月)		当期(7～9月)		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	708	100.0%	794	100.0%	+12.1%
売上原価	270	38.1%	310	39.0%	+14.9%
売上総利益	438	61.9%	484	61.0%	+10.4%
販売管理費	363	51.2%	365	46.0%	+0.7%
営業利益	75	10.6%	118	14.9%	+57.3%
経常利益	76	10.8%	121	15.3%	+58.4%
四半期純利益	46	6.6%	70	8.9%	+51.4%
包括利益	45	6.4%	110	13.9%	+143.1%

商品タイプ別 売上構成比率(7～9月・前年比)

- サービス/その他売上
- ターゲティング型売上
- タイアップ型売上
- ディスプレイ型売上

(単位:百万円)

商品区分



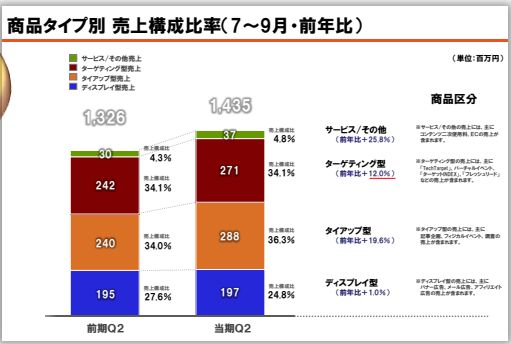
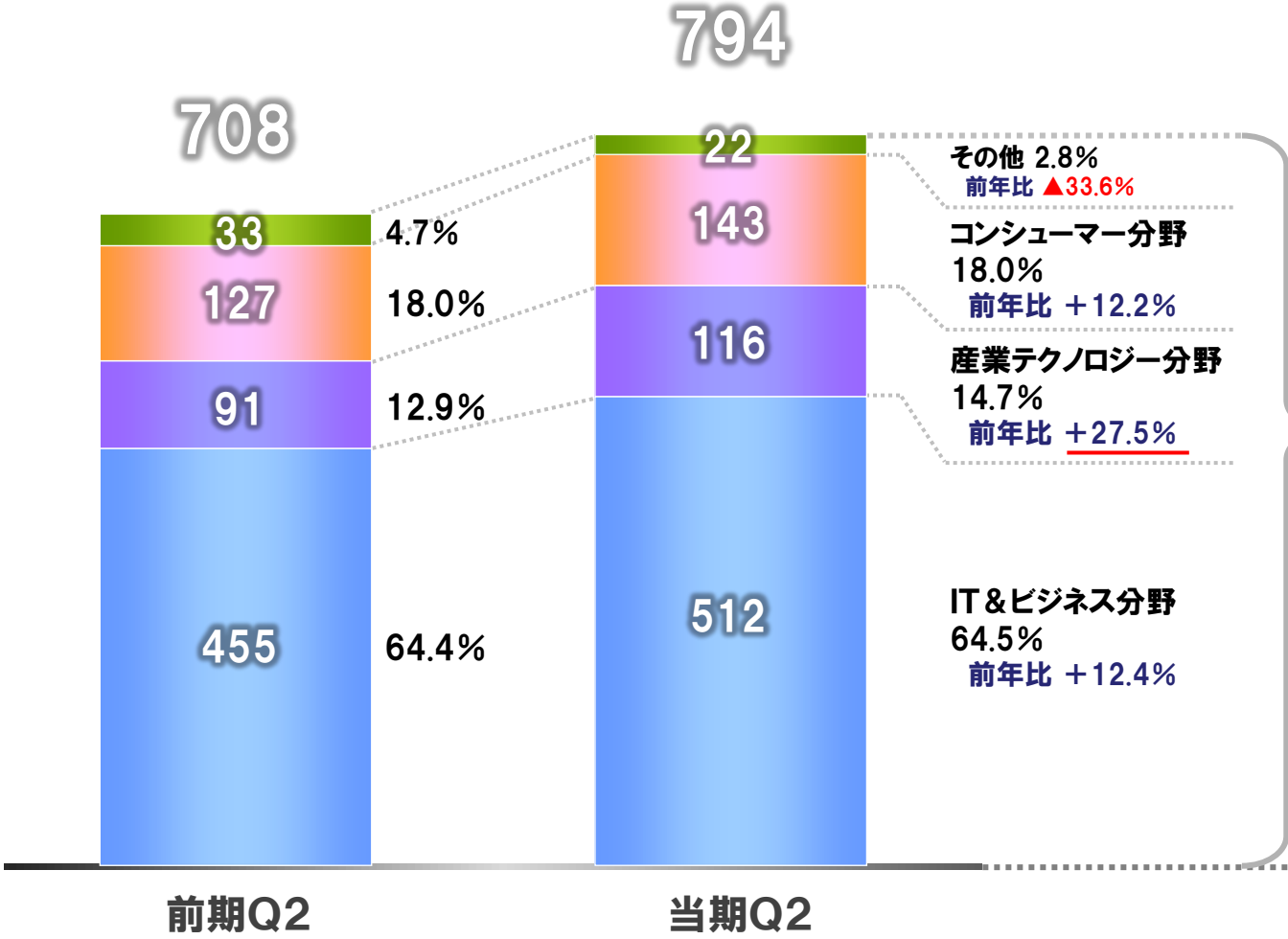
セグメントおよびメディア分野

セグメント	メディア分野	主要なメディア・サービス	
メディア事業	IT & ビジネス分野	会員向けIT製品/サービス購買支援	TechTargetジャパン
		IT技術者向け専門情報	@IT、@IT自分戦略研究所 ほか
		企業向けIT業界関連ニュース	ITmedia ニュース、エンタープライズ
		企業向けデジタルマーケティング情報	ITmedia マーケティング
		ビジネスリーダーの会員制コミュニティ	ITmedia エグゼクティブ
		企業向けビジネス情報	Business Media 誠、誠 Biz.ID
	産業テクノロジー分野※	製造業技術者向け専門情報	MONOist
		エレクトロニクス技術者向け専門情報	EE Times Japan、EDN Japan
		企業向け電力・エネルギー専門情報	スマートジャパン
	コンシューマー分野	デジタル関連機器情報	ITmedia Mobile、ITmedia PC USER ほか
		インターネット カルチャー情報	ねとらぼ
	その他	主要分野に含まれないメディア および スマートデバイス向けメディアの企画開発、メディアプラットフォーム事業の企画開発、動画広告の商品開発など	

分野別・売上構成比率(7~9月・前年比)

(単位:百万円)

- その他
- コンシューマー分野
- 産業テクノロジー分野
- IT&ビジネス分野



メディア事業
前年比 +12.1%

IT & ビジネス分野

◇ 2014年度 第2四半期の事業動向

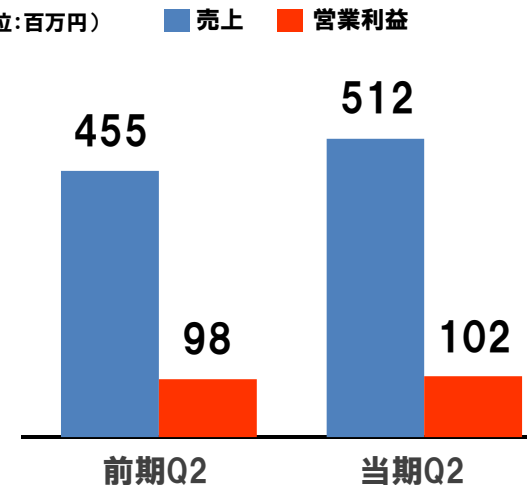
- ・ 前年比で増収増益
 - 売上: 前年比12%成長、広告主(ITベンダ)の出稿が堅調に推移
 - 営業利益: 前年比4%成長、人員投入によるコスト増を吸収
- ・ ターゲティング型商品の成長が持続
 - 「TechTarget」売上: 4四半期連続で前年比10%を超える成長
 - ※「TechTarget」= 見込み顧客リスト提供型商品を提供するメディア
- ・ メディア・商品強化の施策
 - ITキーワード別ターゲティング広告販売開始
 - アクセスログ分析サービスのテスト販売を開始

◇ 2014年度 第3四半期以降の施策

- ・ 前年比で増収増益を目指す
 - 広告主(ITベンダ)の出稿意欲は堅調
 - ターゲティング型商品の着実な成長を持続
- ・ 商品強化の施策
 - 読者の行動履歴に基づいたターゲティング商品開発
 - アクセスログ分析サービスの正式販売開始
- ・ メディア強化の施策
 - 企業のビジネス戦略を紹介する事例記事の強化
 - 中堅中小企業のIT導入を支援する記事の強化

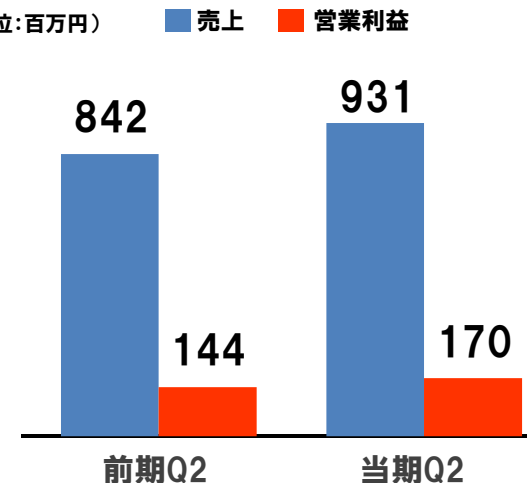
第2四半期会計期間(7~9月)業績比較

(単位: 百万円)



第2四半期累計期間(4~9月)業績比較

(単位: 百万円)



産業テクノロジー分野

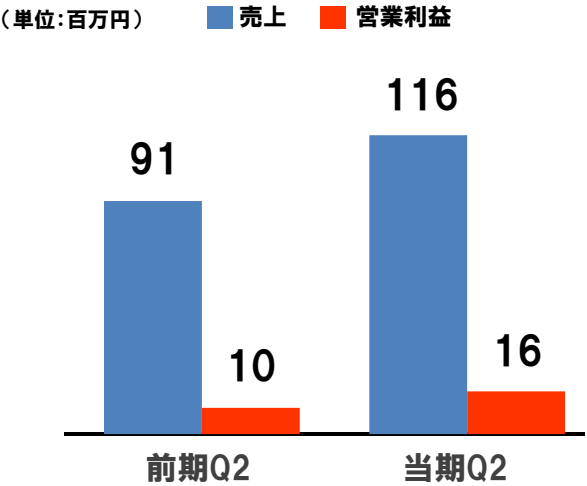
◇ 2014年度 第2四半期の事業動向

- ・ 前年比で増収増益
 - 顧客数・顧客単価ともに伸びて、前年比28%増収
 - 売上増により、コスト増を吸収し営業利益前年比60%増
- ・ タイアップ型とターゲティング型商品が好調
 - タイアップ型商品の売上が前年比64%増加
 - ターゲティング型商品の売上も前年比17%増加
- ・ メディア力の順調な拡大と新サービス開設
 - PVは前年比9%増加
 - 3Dデータ共有サービス「3Dモデラボ」コンテストスポンサーを獲得

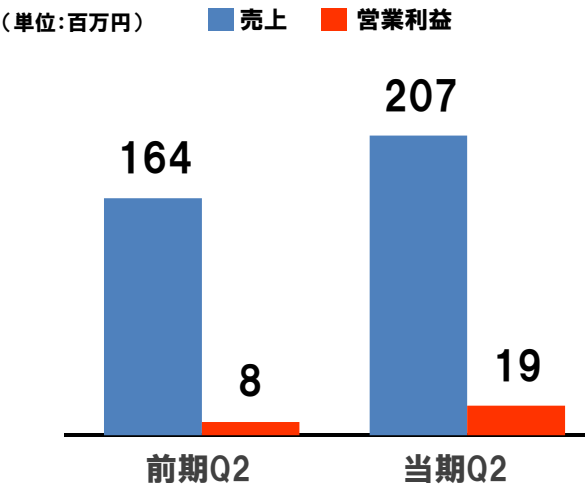
◇ 2014年度 第3四半期以降の施策

- ・ 継続的な売上の拡大
 - 製造業のオンラインプロモーションの拡大を背景に広告出稿が増加
 - FA、エネルギーなどメディア領域の広がりに合わせて新規顧客を開拓
- ・ 商品強化の施策
 - ターゲティング型商品をさらに強化、IT分野で蓄積したノウハウを活用
 - 主力商材(純広告、タイアップ、イベント)の継続的な強化・リニューアル
- ・ メディア強化の施策
 - 新領域(MONOist ロボットフォーラム)を開設

第2四半期会計期間(7~9月)業績比較



第2四半期累計期間(4~9月)業績比較



コンシューマー分野

◇ 2014年度 第2四半期の事業動向

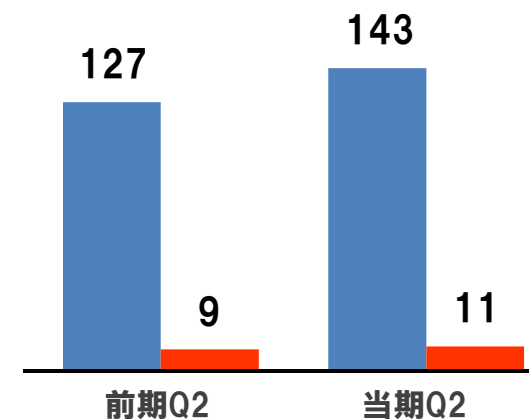
- ・ 前年比で増収増益
 - － 第2四半期累計で黒字を回復
 - － PC分野が復調
- ・ 「ねとらぼ」は媒体力、売上ともに大幅成長を継続
 - ※「ねとらぼ」=ネット上の話題を幅広く紹介するメディア
 - － PVは、前年比37%増
 - － 売上は、前年比69%増
- ・ 動画コンテンツを拡充
 - － 7-9月で130本以上を掲載

◇ 2014年度 第3四半期以降の施策

- ・ コストコントロールによる黒字の継続
- ・ 「ねとらぼ」はリソースを投入し成長加速
- ・ ウェアラブル、ヘルスケアなどの新領域を開拓
- ・ 動画コンテンツの強化

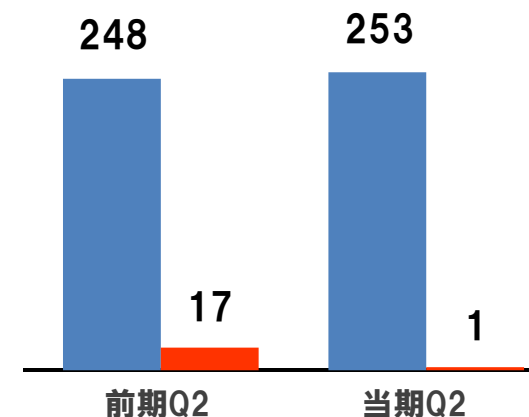
第2四半期会計期間(7～9月)業績比較

(単位:百万円) ■ 売上 ■ 営業利益



第2四半期累計期間(4～9月)業績比較

(単位:百万円) ■ 売上 ■ 営業利益



その他：新事業・新分野の取り組み

● 2014年度 第2四半期の取り組み

- ITmedia Virtual EXPO 2014 秋 開催(9月)
 - 出展社数過去最多／8つのテーマゾーンで実施
- スマートフォンからの閲覧が順調に拡大
 - PV(スマートフォンビュー)は前年比28%増
 - スマートデバイス向けアプリの利用も堅調に拡大
 - 売上は前年同水準

 ITmedia Virtual EXPO 2014 秋
ITとモノづくり、日本最大級のバーチャル展示会



● 2014年度 第3四半期以降の取り組み

- CEATECに当社のバーチャルイベントサービスが採用
- スマートフォン向け広告売上を今後も拡大
 - PVの拡大 (Yahoo!など外部サービスとの連携強化)
 - スマートフォン向け広告新商品の開発
 - 動画広告商品の開発・拡販

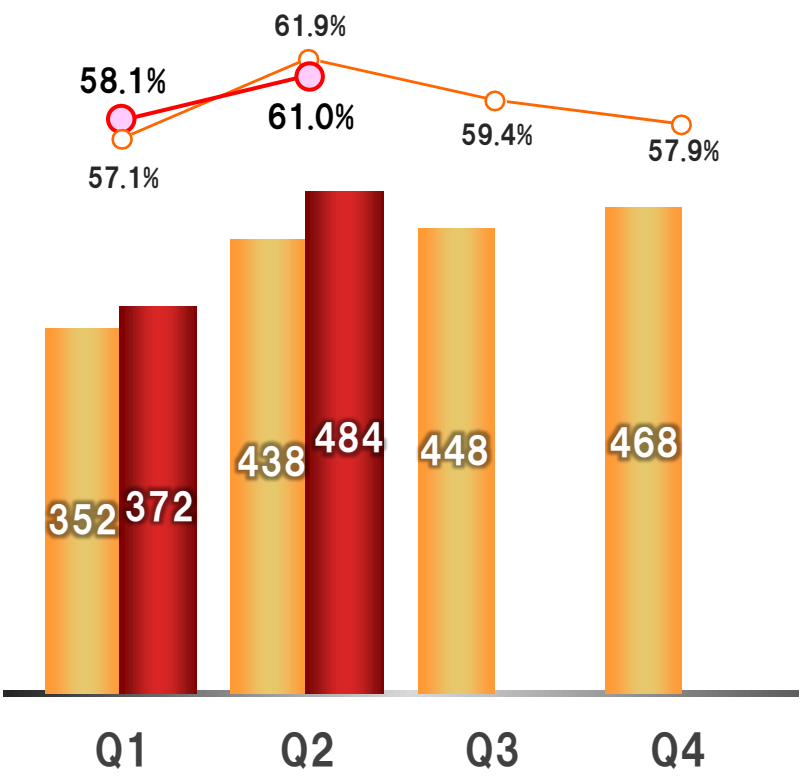


売上総利益・営業利益の推移(四半期推移)

(単位:百万円)

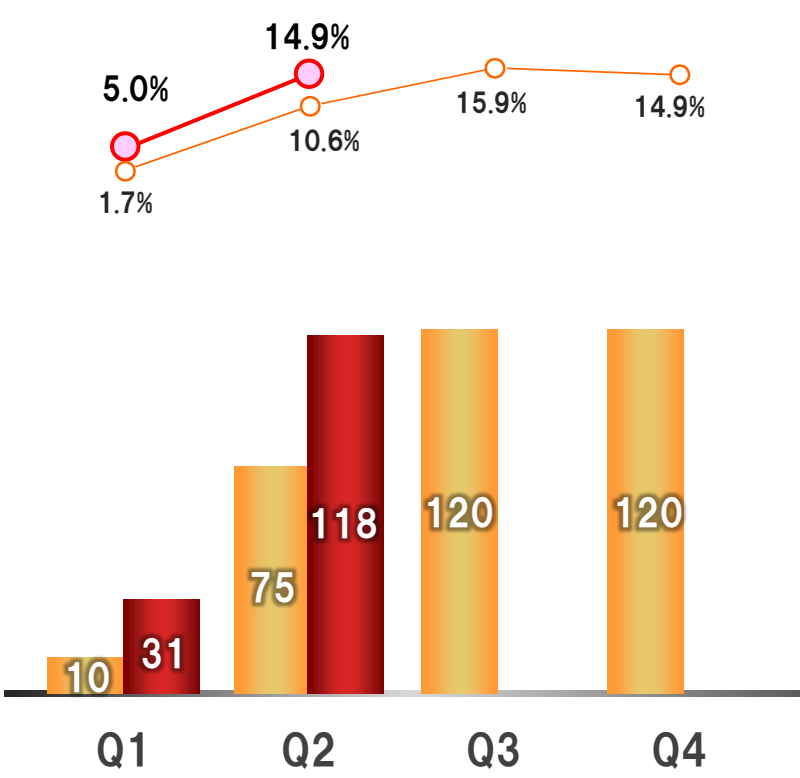
売上総利益・売上総利益率の推移

- 前期 売上総利益
- 当期 売上総利益
- 前期 売上総利益率
- 当期 売上総利益率



営業利益・営業利益率の推移

- 前期 営業利益
- 当期 営業利益
- 前期 営業利益率
- 当期 営業利益率



2014年度 4月～ トピック

2014年4月25日	前期決算公表(4期連続増益)。当期の配当予想を増配で発表
2014年5月27日	3Dモデルデータ投稿・共有サービス「3Dモデラボ」を開設
2014年6月19日	「ONETOPI」サービス終了の決定
2014年7月11日	コーポレートサイトをリニューアル
2014年7月24日	スマホ向け文芸Webサイト「ITmedia 名作文庫」を開設
2014年9月9日	スマホから参加する日本最大級のバーチャル展示会開幕
2014年10月7日	「CEATEC JAPAN 2014」が当社のバーチャルイベントサービスを採用
2014年10月17日	業績予想の上方修正を公表



ITmedia Inc.

ご参考資料：アイティメディアとは ビジネスモデルおよび会社概要

2014 年 10 月 29 日

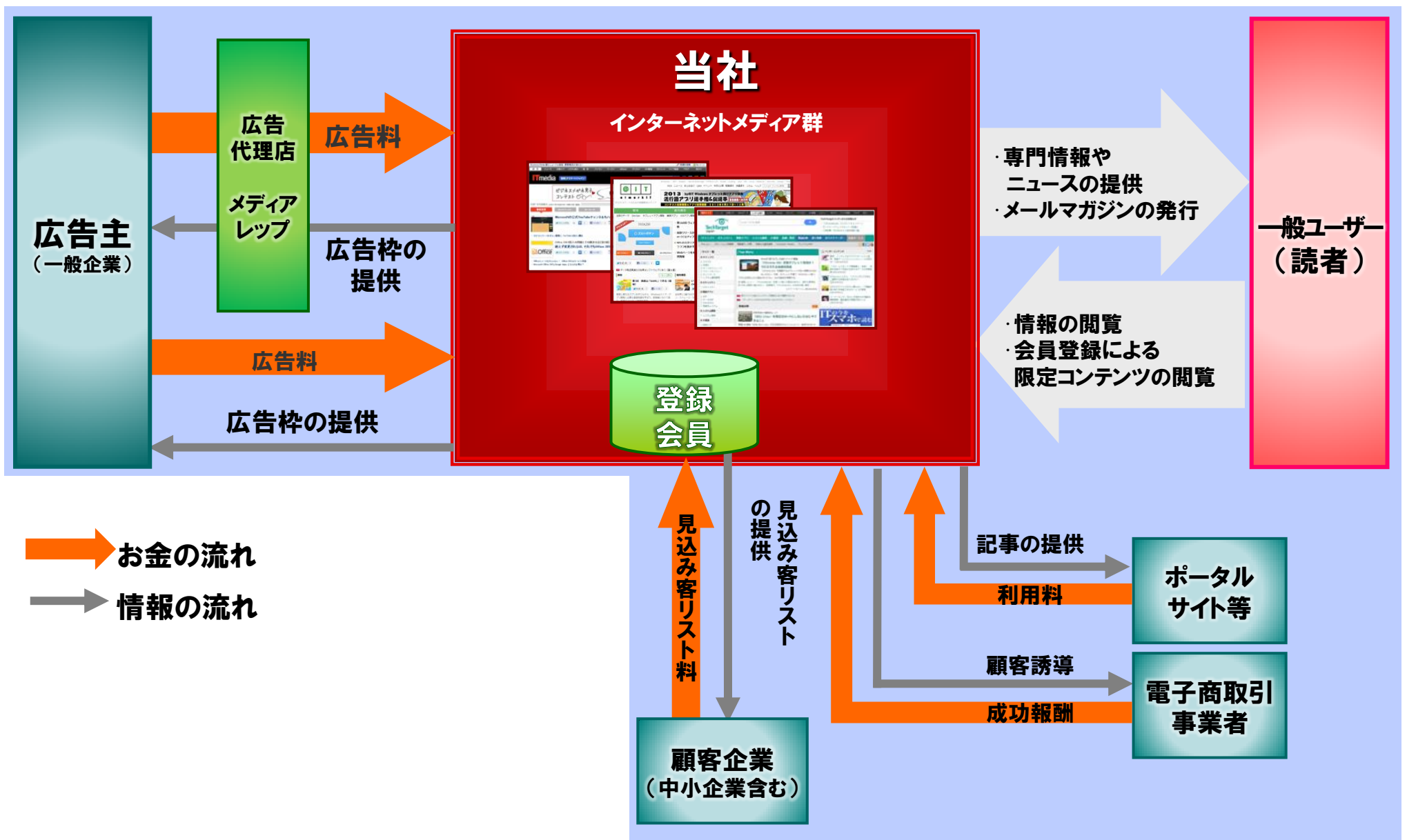
アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

Copyright © 2014 ITmedia Inc.



当社のビジネスモデル



メディアの革新を通じて 情報革命を実現し、社会に貢献する

専門性・信頼性の高い情報選択により、
知恵と知識の向上、情報格差の解消に貢献します。

テクノロジーの進化と共にメディア事業を革新し続けます。

社会的知識基盤としての情報コミュニティを提供します。



ITmedia Inc.

会社概要

設立年月日	1999年12月
資本金	16億67百万円（2014年9月30日現在）
代表者	代表取締役社長 大槻 利樹
所在地	東京都港区赤坂8-1-22 赤坂王子ビル
事業内容	インターネット専門メディアの開発と運営
従業員数	179名（2014年9月30日現在）
主要株主	SBメディアホールディングス(株) / ヤフー(株) 他
ホームページ	http://corp.itmedia.co.jp/

テクノロジーとメディアで未来へ



アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

Copyright © 2014 ITmedia Inc.